

# 福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事

図面目録

図面番号	図面名称		
M-00	表紙・図面目録		
M-01	特記仕様書（１）		
M-02	特記仕様書（２）		
M-03	施工区分表		
M-04	配置図・付近見取図・概略工事工程表（案）		
M-05	各階全体平面図		
M-06	空気調和設備	凡例・機器表・配管系統図	（改修後）
M-07	空気調和設備	３階平面図	（改修後）
M-08	空気調和設備	４階平面図	（改修後）
M-09	空気調和設備	R階平面図	（改修後）
M-10	自動制御設備	２階平面図	（改修後）
M-11	自動制御設備	３階平面図	（改修後）
M-12	自動制御設備	４階平面図	（改修後）
M-13	自動制御設備	R階平面図	（改修後）
M-14	建築工事	３階平面図	（改修・撤去）
M-15	建築工事	４階平面図	（改修・撤去）
M-16	空気調和設備	凡例・機器表・配管系統図	（撤去）
M-17	空気調和設備	３階平面図	（撤去）
M-18	空気調和設備	４階平面図	（撤去）
M-19	空気調和設備	R階平面図	（撤去）
M-20	自動制御設備	２階平面図	（撤去）
M-21	自動制御設備	３階平面図	（撤去）
M-22	自動制御設備	４階平面図	（撤去）
M-23	自動制御設備	R階平面図	（撤去）
E-01	電気設備工事特記仕様書		
E-02	電気設備	２階平面図	（改修・撤去）
E-03	電気設備	３階平面図	（改修・撤去）
E-04	電気設備	４階平面図	（改修・撤去）
E-05	電気設備	R階平面図	（改修・撤去）

（発注図）

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
表紙・図面目録		NO. M - 00
SCALE	—	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	

称 要 所 要	福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事				
	福岡県田川市伊田 4 3 9 5				
名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	防火対象物の種 別	戸数・浄化槽入槽 受水槽有効容量等
	R C	4 階	3,771.93	(七) 項	

建物別及び屋外		工 事 種 別				
工事種目	4号館					
・ 衛 生 器 具 設 備						
・ 給 水 設 備						
・ 排 水 設 備						
・ 給 湯 設 備						
・ 消 火 設 備						
・ ガ ス 設 備						
・ 換 気 設 備						
○ 空 気 調 和 設 備	改修一式					
・ 排 煙 設 備						
・ 中 水 設 備						
・ 浄 化 槽 設 備						
・ さ く 井 設 備						
・ 電 気 設 備 工 事 ※						
○ 建 築 工 事 ※	改修一式					
<div> <div></div> <div>各工事の特記仕様書を確認のこと</div> </div>						

給排水衛生設備	給水方式	上水水道（・市水・井水） 給水方式（・水道直結方式（・直圧・増圧）・高架水槽方式）・ポンプ直送方式） 中水水道（・雑用水処理水・雨水・井水） 中水給水方式（・水道直結方式）・高架水槽方式・ポンプ直送方式）	法的区分（・小規模排水・簡専・専用水道）
	排水方式	・建物内汚水と雑排水（・分流・合流） ・重力式・ポンプアップ式・敷地外放流方式 ・直放流（・合流式・分流式）・非直放流（・浄化槽・中水処理槽）	
	浄化槽の形式	・ユニット型・現場施工型 ・合併処理	・放流水質BOD mg/L
	給湯設備	・局所式・中央式	
	消火設備の種別	・屋内消火栓（・1号・2号・易操作性1号） ・屋外消火栓・噴霧消火・泡消火 ・不活性ガス・ $n\text{-C}_{10}\text{H}_{21}$ 化合物消火・粉末消火	・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ・連絡散水・連絡送水
	ガスの種別	・都市ガス・液化石油ガス・簡易ガス	

空 気 調 和 設 備	空 調 方 式	・ ダクト方式      ・ ファンコイルユニット      ・ ダクト併用方式 ○ パッケージ方式（ ・ 中央式      ・ 各層式      ○ 個別式） ・ 直接暖房（ ・ 蒸気      ・ 温水） ・ 温風暖房      ・ 暖房専用      ・ 待来冷房可能 ・ 温風暖房機      ・ 空気調和機
	主 要 熱 源 機 器	・ 温水      ・ 蒸気 ・ 鉄板製ボイラ      ・ 銅製ボイラ（ ・ 立てボイラ      ・ 炉筒煙管式ボイラ） ・ 温風暖房機      ・ ヒートポンプチャラー（ ・ 水冷      ・ 空冷） ・ 往復動冷凍機      ・ 遠心冷凍機      ・ 吸収冷凍機      ・ 直込式吸収冷水機
	全 熱 交 換 器	・ 回転形      ・ 静止形      ・ 全熱交換ユニット
	換 気 設 備	・ 機械換気（ ・ 有      ・ 無）
	排 煙 設 備	・ 機械排煙（ ・ 有      ・ 無） ・ 法規（ ・ 建基法      ・ 消防法）

建 築 基 準 法	防火区画	112条区画 (○有 ・ 無)
		114条区画 (○有 ・ 無)
	延焼のおそれがある部分 (・有 ○無)	
消 防 法	接壁区画 (・有 ○無)	
	令8区画 (・有 ○無)	
そ の 他 の 区 画	共住区画 (・有 ○無)	

- ・ 週休 2 日促進工事
- ・ 入札時積算数量書活用方式対象工事
- ・ 快適トイレ設置対象
- ・ 情報共有システム活用
- ・ 余裕期間制度対象
- ※工事内容、留意事項等
  - ・ 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機（マルチタイプ）の撤去・新設を行う。
  - ・ 冷媒管については基本的に撤去・新設、ドレン配管は改修対象外のアリアに影響のない範囲で撤去・新設を行う。
  - ・ 学校の運用に支障をきたさないよう、管理者と十分な協議を行い、工事を行うこと。

① 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

(1) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(2) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(3) 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(4) 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(5) 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(6) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」	国土交通省大臣官庁官庁管理部監修
(7) 「公共住宅建設工事標準仕様書（令和元年度版）」	国土交通省住宅土地総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に差し替え。  
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、発注者と協議する。

- | 項 目                      | 特 記 事 項  |
|--------------------------|--|
| ① 発 生 材 の 処 理            | ※18建設副産物の処理についての項を適用すること。  |
| ② 残 土 処 分                | ※フロンの処理は、19フロン処理についての項を適用のこと。  |
| ③ 官公署その他への<br>手続         | ※外搬出し ・ 積込数均し<br>この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこなひ、その検査に合格すること。  |
| ④ 機 能 試 験                | 工事の内容に応じて、機能試験を行うこと。   |
| ⑤ 他工事との取合い               | 住宅区分区による ・ 図面詳細による   |
| ⑥ 技 能 士 の 適 用            | ※他においては20戸以上 ・ 住宅以外の建物のについては1,500m <sup>2</sup> 以上の工事に適用する。<br>・ 配管（建築配管作業） ・ 建築金板（ダクト板金作業） ・ 熱熱線施工（保温保冷工事作業）<br>○冷凍空調調和機器施工（冷凍空調調和機器施工作業） |
| ⑦ あと施工アンカー               | あと施工アンカーの施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の有資格者にて行うこと。  |
| ① 監 督 員 事 務 所            | ・ 設けない ・ 設ける（ 10 m程度） 備品については監督員の指示による。  |
| ② 工 事 用 電 力 ・ 水<br>・ その他 | この工事に必要な工事用電力（仮設及び誘導調整用電力を含む）の水・水（機械検査、消火用水及びプールの水張りを含む）及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。  |
| ③ 総合仮設計画書                | ○要する ・ 要しない  |
| ④ 足 場 ・ 構 台              | ・ 他工事 ・ 本工事（詳細図による。）   |
| ⑤ 仮囲い等危険防止措置             | ・ 他工事 ・ 本工事（詳細図による。）   |
| ⑥ 工 事 表 示 板 等            | 監督員の指示による。   |
| ⑦ 工事車両の出入り口              | 工事車両車の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。<br>交通誘導員 ・ 配置する（ 名 ）上<br>○配置しない  |

① 機 材  
この工事に使用する機材は、監督職員（係員）の承認を受けること。  
なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。

② 容量等の表示  
イ) 機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として、表示された数値以上とする。  
ロ) 電動機出力は、原則として、表示された出力以下の容量とする。  
ハ) 電動機の周波数は、60Hzとする。

3. 耐震施工  
設け機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。

(1) 設計用標準震度 (Ks)  
機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める

設置場所	耐震安全性の分類							
	・特定の施設				・一般の施設			
	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6

\*耐震安全性の分類（・特定の施設 ・一般の施設）  
 \*次に示す機器を、重要機器、重要水槽とし、それ以外の機器を一般機器、一般水槽とする。  
 ・  
 \_\_\_\_\_  
 \*１層階の定義は、次のとおりとする。  
 ２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、  
 １３階建以上の場合は上層４階  
 （２）地域係数（Z）  
 地域係数（Z）は、１.０とする。

④	防火区画等を貫通する配管	給水管その他の管が、建築基準法施行令第112条第5項の準耐火構造の防火区画等を貫通する場合の措置は、図1による。
5.	給水管等の材質	飲料用の給水・給湯管、継手、弁類、水栓等については、鉛に関する浸出性能基準を満足すること。
6.	ライニング鋼管の継手	呼び径100以下はねじ接合、125以上はフランジ接合とする。

⑦ 吊り及び支持等

又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。

8. 埋設構設テープ  
埋設深さは150mm、テープ幅は150mm以上（図3）とし、色については次による。  
上水（青） ガス（緑） 消火管（赤） 中水（黄色） 油（茶）  
その他については、監督官署（係員）の指示による。

9. 地中埋設構  
※標準仕様書による。 ・ 図示による。

10. 地中埋設及びコンクリート内の防食  
 コンクリート内の防食は、防食用ニールテープ巻（1/2重ね1回巻）とする。  
 地中埋設は、ペトロラタム系ペーストを塗布のうえ、ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻きを行う。さらにプラスティックテープ1/2重ね1回巻きを行う。継手は凹部分にペトロラタム系マスタックを詰め、表面を平滑にしたうえで防食シートで包み、プラスティックテープを1/2重ね1回巻きとする。

11.	コンクリート強度	<p>○ 鉄筋コンクリートの配合は 1 : 2 : 4 とする。</p> <p>□ 鉄筋コンクリートの設計強度は、18N/mm<sup>2</sup> とする。</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通時のみ開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。事前に探査装置等を使用し、コンクリート内の配筋、配管等を確認すること。</p> <p>※電気工事士法に定める「電気工事」「軽微な作業」を行う自らのものは、電気工事事業の登録または届出</p> <p>及び電気工事士資格を要し、「軽微な作業」を自ら行うものは電気工事事業の登録または届出を要する。</p> <p>※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。</p> <p>※可とう電線管は、2種金属可とう電線管とする。</p> <p>※特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。</p>
12.	電気工事	<p>この工事で設置する種類の仕様については、監督官庁（係員）の承諾を受けること。</p> <p>掘削深さ（1,500 mm以上）の掘削には矢板を使用すること。</p>
14.	足 架	
15.	鋸 類	
16.	鍵	

4 衛 生 器 具 設 備	1. 大 便 器	・和風大便器（※節水型 ・一般型） ※耐火カバー（防火区画貫通部） ・洋風大便器（※節水型 ・一般型 ・高座面形）
	2. 大 便 器 洗 浄 方 式	・フラッシュタンク式 ・タンク式
	3. 小 便 器	・床置型 ・壁掛型
	4. 小 便 器 洗 浄 方 式	・専用洗浄弁 ・洗浄弁式
	5. 洗 面 化 粧 台	※洗面化粧台キャビネット部は、ホルムアルデヒド放散量が日本農林規格（JIS）で 定める☆☆☆☆☆基準のものとする。
	6. 水 栓	※節水コマ付 ・普通コマ付
	7. 鏡	・普通 ・盗難防止形 ・耐食 ・盗難防止形耐食 ・身体障害者対応
	8. 水 栓 柱	70° □130×（※合成樹脂製 ・研製 ・SUS製）
	9. 器 具 配 置	トイレリモコン内の紙巻器、レモコン類等についてはJIS S0026に則った配置とすること。

1.	量 水 器	※計量法 検定合格品とする。 ・親メーター (※資与品 ※買取り) (直読式 ・遠隔式) ・子メーター (・資与品 ※買取り) (直読式 ・遠隔式)
2.	量 水 器 附	・水道事業者指定品 (・資与品 ※買取り) ・国土交通省型 ・その他
3.	弁 類	・水道連結部分 JIS (※10K ( ) ) ・その他の部分 JIS (・5K ・10K ) ・塩化ライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取付ける錆鉄製の弁は塩化ライニングとし、青銅製弁は管端防食継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。 ・錆鉄製ストレーナーはライニングを施したものとす。
4.	弁 附	・国土交通省型 図4による。
5.	配 管 材 料	一般配管 ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VA) ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VB) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) ・錆鉄管 ( 型 種) ・ステンレス鋼管 (SUS) (・圧縮継合 ・溶接継合 ・拡管継合) ・金属橋ポリエチレン管またはポリブテン管 (さや管工法) ・金属塩化ポリエチレン管 ビッド内配管 ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) 厨房、浴室等のシンダー内配管 ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) 屋内地中配管 ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) 屋外地中配管 ・塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) ・水道用硬質塩化ビニル管 (VP) ・ポリエチレン管 1種 (PE) (・溶着継合 ・金属継手接合)
6.	引込納付金等	※別途
7.	ポンプ基礎	・標準基礎 ・防振基礎
8.	他の設備項目の適用	下掲のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ) 防振継手 ロ) 7.4.2.3.2 (イ) 防振吊り金具及び支持金具 (ただし漏水管のみ)
9.	建築物導入部配管管の埋設深さ	※標準深 (・(a) ・(b) ※(c) スリークッション) による。 ・一般敷地 (・300 mm) ・構内車両道路 (・600 mm) (mm)
11.	器具接続用管端防食継手	※用いる (図5による。) 塩化ライニング鋼管と給水栓・銅合金製配管附属品などの接続

1. 配 管 材 料	・汚水管 ・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火二層管 ・排水用塩化ビニリング鋼管 ・耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・硬質塩化ポリサルカル管(RF-VP)：ビッド内 ・雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・カラーVP ・耐火二層管 ・排水用塩化ビニリング鋼管 ・耐熱硬質塩化ビニル管 ・耐火硬質塩化ビニ管 (FS-VP) ・硬質塩化ポリサルカル管(RF-VP)：ビッド内 ・屋外排水管・硬質塩化ビニル管 (VP ・VP) ※呼び径125以上は原則としてVUとする。 ・小口径樹立より管・リサイクル硬質塩化ビニル管 (※※※VU) ・通 気 管 ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・カラーVP ・耐火二層管 ・硬質塩化ポリサルカル管(RF-VP)：ビッド内
2. 管 接 合	・鋼 管 ・おじ込み式 ・M継手 ・ ・排水用塩化ビニリング鋼管 (M継手 ・)
3. 可燃材の区画処理	図1による。
4. 弁 類	特記以外JIS 5K とする。
5. 排水掃除口直下の水管	排水用鉄管等系統の床上掃除口直下に取付ける管は45° 2曲回りとする。
6. コンクリート樹ふた	図面詳細による。
7. 小口 径 樹 ふ た	図面詳細による他、下記による。 ミカゲ (未塗装部) 鉄鉄 (歩道部) 保護鉄鉄 (車道部) ・T-8 ・T-14 ・T-25)
8. 伸 縮 継 手	ビニル製伸縮継手
9. グリーストラップ	空気調和・衛生工学会規格SHASE-S 217 (グリース阻集器) によるものとする。
10. 差込ソケット (VV)	排水流下のビニル製排水管には差込 (VV) ソケットを使用すること。
11. 漏水試験継手	図示による。

1. 管 類	イ) ・ステンレス鋼管 (・圧縮接合 ・溶接接合) ・保溫付ステンレス鋼管 ・耐熱塩ビライニング鋼管 ・鋼管 ・保溫付被覆鋼管 ・被覆耐熱鋼管 ・架橋ポリエチレン管またはポリブテン管 (・さや管工法) ・金属塩化ビトリエレン管 ロ) 鋼管使用の場合はM管とし、電氣防止継手を取付ける。 ※用いる (図5による。)
2. 器具接続用管端 防食管継手	
3. 弁 類	JIS 5K とする。ただし、特記部分ではJIS 10K とする。
4. 排気筒及び煙突	ガス漏洩用断熱断熱体、JIS S 3025によるSUS304 (厚さ0.3mm以上) とする。 ・排気筒の断熱 (※要 (図べいの箇所のみ) ・不要)
5. 保 温	イ) 膨張水の保溫 (・要 ・不要) ロ) コンクリート埋設部 (・防水麻布巻 ・保溫施工) ハ) 瞬間式 ・貯湯式 ・風呂給湯器 (オートタイプ) ニ) ガス ・灯油 ・電気
6. 燃 沸 器	
7. 燃 料	
1. 消火ポンプの基礎 及びフット弁・呼吸槽 及びサクションカバー	・標準基礎 ・防護基礎 ・要 ・不要
3. 屋 内 消 火 栓 弁	※減圧弁付
4. 温	・屋内消火管 (・要 ※不要) ・屋外露出消火管 (※要 ・不要)
5. 管 類	・配管用炭素鋼管 (白) (屋内) ・外面被覆鋼管 (・SGP-VS ・SGP-PS) ※要
6. 消 防 設 備 士	

1. 種 類	・都市ガス（ガス種 ※13A ・12A ） ・液化石油ガス
2. 管 類	一般配管 ・配管用炭素鋼管（白） ・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・硬質塩ビ外面被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 ピット内配管 ・硬質塩ビ外面被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 屋外埋設配管 ・ポリエチレン管JIS K 6774
3. 都 市 ガ ス	イ）ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
4. 液化石油ガス	イ）ガスメーター（・買取り ・借用） ロ）集合装置（・別途工事 ※本工事） ハ）転回防止用の鎖（・別途工事 ※本工事） ニ）ポンベ置場のコンクリート基礎（※別途工事 ・本工事） 連動スイッチ（・要 ・不要） ・本工事 ・別途工事 ※ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。 （注）石油ガス設備士による施工とする。 （抜）日本エルピガス機器検査協会、検査合格品とする。
5. ガス湯沸器の付属品	※要 ・不要
6. ガス漏れ警報器	・標準図（・（a） ・（b） ※（c） スリクッション）による。
7. 施 工 資 格	
8. ガ ス 栓	
9. 絶 縁 継 手	
10. 建物導入部配管	

1. ダクトの 種類	※低圧ダクト	・ 高圧ダクト
2. 厨房ダクトの 板厚	厨房排気ダクト (矩形ダクトに限る) の板厚は、表 1 による	
3. ダクトの工法・種類	イ) 給気用ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アングル工法</li> <li>・ コーナーボルト工法 (・ 共振板・スライドオン)</li> <li>・ スパイラルダクト</li> <li>・ 耐火二層管工法</li> <li>・ VP管工法</li> </ul> ロ) 排気用ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アングル工法</li> <li>・ コーナーボルト工法 (・ 共振板・スライドオン)</li> <li>・ スパイラルダクト</li> <li>・ 耐火二層管工法</li> <li>・ VP管工法</li> </ul> ※厨房排気は原則としてアングル工法とすること	
4. ダクトの 分岐方法	イ) 給気用ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>※割込み方式</li> <li>・ 直付け方式</li> </ul> ロ) 排気用ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>※割込み方式</li> <li>・ 直付け方式</li> </ul> ※指定仕仕上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定なし</li> </ul>	
5. 換 気 フ ード		
6. 厨 房 排 気 フ ード	イ) 排気フードの構造及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。 ロ) 材質 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ステンレス製</li> <li>・ 亜鉛鉄板製</li> </ul>	
7. 多 湿 箇 所 の 範 囲	※厨房 ※浴室 (シール有)	
8. 他 の 設 備 項 目 の 適 用	下記のもの、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ) 風量測定口    ロ) チャンバー等    ハ) 吸出口及び吸込口の材質 ニ) 防塵ダンパー    ホ) 消音内貼り    ヘ) 防振つり金物 ・ 床置 (・標準基礎・防振基礎)    ・ 天吊 (標準天吊による。)	
9. 送 風 機 の 基 礎		

1. ダクトの材質	亜鉛板製	・普通銅板製	
2. 排煙口	イ) 形状	・スリット形	・パネル形
	ロ) 開放装置	・手動	・手動及び遠隔操作可能なもの
3. 中央監視制御	・要 (既存)	・不要	
4. 中央監視制御装置の構成・機能	別紙による。		
5. 電源装置	・要 (・本工事)	・別途電気工事	・不要
① 温湿度調整目標値 (※冷・暖房期前若しくは指定日に総合運転調整を行い、試運転成績表を提出すること)			
外気		室内	
		○学校 (一般系統)	
		・学校 (厨房)	
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏季	35.1	27.8℃	57.3%
冬季	1.6℃	-0.9℃	58.4%
2. 電気工事の範囲	※施工区分表による。・図面詳細による。		
3. パッケージエアコン	イ) 冷媒 ※HFC系 (R407C, R410A, R134a, R32等) ロ) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (断熱厚: 液管10mm (液管の管径9.52mm以下は厚8mm)、ガス管20mm) ハ) 冷媒管及びドレン管の区画処理 (○有 (※国土交通大臣認定工法・その他)・無) ニ) ドレン管の材質 ・配管用炭素鋼管 (白) ・カラーVP ホ) 結露防止層付強化ビニル管 ・硬質塩ビサイクル管 (RF-VP) ヘ) 室外機の基礎 (・標準架台 ○防振架台) ヘ) ※2015年省エネ基準値対応品とする (各メーカー最高APF機種)		
4. 配管材料 (n'アーク'エフンを除く)	イ) 給水管 ・塩ビラインング鋼管 (・SGP-VB ・SGP-VA) ロ) 冷温水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・耐熱塩ビラインング鋼管 ハ) 排水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩ビ管 (VP) ・カラーVP ニ) 冷却水管 ※塩ビラインング鋼管 (SGP-VB) ・ ホ) 蒸気及び油配管は配管用炭素鋼管 (黒) とする。 ヘ) 冷媒管 (・銅管 ・断熱材被覆銅管 (製造者標準品)) ト) 冷媒管の区画処理 (・有 (※国土交通大臣認定工法・その他) ・無) チ) 膨張管、安全管及び膨張水槽よりボイラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。		
5. 冷媒	※HFC系 (R407C, R410A, R134a, R32等) ・自然冷媒 (CO2, NH3)		
6. 井類	JIS 5K とする。ただし特記部分はJIS 10K とする。		
7. 防振継手	・ベローズ形 ・合成ゴム製 (・合成ゴム製 ・3山ベローズ形) ※長さは標準仕様書による。		
8. フレキシブルジョイント	・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製		
9. ダクト	イ) 種別 (※低圧ダクト ・高圧ダクト) ロ) 工法・種類 (・アングル工法 ・コーナーボルト工法 (・共板 ・スライドオン) ・スライバルダクト ・ステンレスダクト) ハ) 分岐方法 (※分岐方式 ・直付方式) 標準仕様書によるほか、取付を指示した部分に取付ける。 イ) シーリングディフューザーには、下記の接続チャンパーを設ける。 a) ネット径が200φ以下 400×400×250H b) ネット径が200φをこえるもの 500×500×300H ロ) プルースライン形吹出口には、下記の接続チャンパーを設ける。 a) シングル形 200×(L+100)×300H b) ダブル形 250×(L+100)×300H ハ) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー、ホッパーには排水弁を設ける。 イ) ユニバーサル形吹出口 ・銅板製 ※アルミ製 ロ) シーリングディフューザー ・銅板製 ※アルミ製 ハ) 吸込口 ・銅板製 ※アルミ製 (外気吸込口には防虫網付とする。) 下記のものに本仕様による。 イ) 操作方式 ・電気式 ・空気式 ロ) 駆動方式 ※遠隔式 (※電気式 ・空気式) ・手動式 ハ) 温度ヒューズ (・取り付ける ・取り付けない) ニ) 表示用端子 (・設ける ・設けない) 銅板厚 (・4.5mm ※3.2mm)		
10. 風量測定口	イ) 建物内の空気抜き管の保温は、空気抜きまでとし、仕様は温水管の項による。 ロ) 空気調和機・ファンコイルユニット等の排水管の保温は、給排水衛生設備の排水管の項による。 ハ) 通り風道の保温 (・要 ・不要) ニ) 膨張水槽の保温 (・要 ・不要) ホ) 内貼りチャンパー等の保温 (・要 ・不要)		
11. チャンパー等	ハ) 床下風道の保温でフレンジ部は保温材2枚重畳とする。 イ) 内貼りの材料及び施工法は、標準仕様書の当該事項による。 ロ) 施工箇所は、図示した風道並びにチャンパー類とする。 ハ) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。		
12. 吹出口・吸込口の材質 (シャッター共)	イ) パッケージ形空気調和機 (・防振パット ※木台 ※転倒防止処理) ロ) ユニフォーム空気調和機 (・標準架台 ・防振架台) ハ) 送風機 (・標準架台 ・防振架台) ニ) ポンプ (・標準架台 ・防振架台) ロ) 冷凍機 (・標準架台 ・防振架台) ヘ) チラークユニット (・標準架台 ・防振架台) ・防振つり金物 (・シングル ・ダブル) (・中央機械室 ・各階機械室)		
13. 防振ダンパー	イ) 防油堤 (コンクリート製) ※別途工事 ・本工事 ロ) フロートスイッチの機能は、下記による。 ・給油ポンプの起動、停止 ・減油警報 ・減油警報 ハ) 油面計 (・フロート式 ・ゲージ式) イ) タンク室 ・設けない ・設ける (・別途工事 ・本工事) ロ) 計量器 (・計量尺 ・直読式 (防水蓋スプリング付、プロテクター共) ・遠隔式) ハ) 土工事 ・オープンカット ・矢板 (・有 ・無) ・特殊基礎 (・有 ・無)		
14. 煙道	※ファンコイルユニット付属品 イ) 運転表示ランプ 台数の1/2以上 ロ) フィルター 各型番台数の1/2以上 ※自動巻取り空気流通用フィルター (各台巻) 個 ※ユニット形空気流通器		
15. 保温	※要 (指定機器) ・不要 ※要 (指定機器) ・不要 ・設ける ・設けない (煙道の直線部に直径90φ以上のフレンジ付とする。)		
16. 消音内貼り	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
17. 機器類の架台	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
18. 機械室 (配管・風道) のつり金物	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
19. 温度計	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
20. 圧力計及び連成計	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
21. 瞬間流量計	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
22. ファンコイルユニット用調節弁	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
23. 油サービスタンク	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
24. 地下貯油槽	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
25. 予備品	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
26. アワーメーター	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
27. 度数計	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
28. 煤煙量計	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		
29. ばいじん量測定孔	26. アワーメーター 27. 度数計 28. 煤煙量計 29. ばいじん量測定孔		

[illegible]

建設副産物の処理について	資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。																	
	指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物																
	・がれき類（コンクリート塊）（アスファルト塊） ・木くず ・汚泥	○廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ○廃石こうボード ○金属くず ・繊維くず																
	特別管理産業廃棄物 ・廃石棉等 1. 除去処理 アスベスト含有保温材等（煙突用断熱材は除く）の除去は可能なかぎり粉じん飛散抑制剤で十分に湿潤化した後、手ばしで行う事。手ばし以外の除去（クロールバック方式による除去は除く）の場合は、「改修仕様」9.1.3および「改修指針」9.1.3による。 2. 汚染物処分 (1) 除去したアスベスト含有保温材等の処理方法は、「改修仕様」9.1.3(b) (2) 及び「改修指針」9.1.3(b) (2) により、密封処理する。 (2) 施工区域内において、アスベスト含有保温材等の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、アスベスト含有保温材等を高所より落下させない事。なお、アスベスト含有保温材等の発生、運搬、処分等については、「改修仕様」9.1.3(c) 及び「改修指針」9.1.3(c) による。																	
フロコン処理について	・廃PCB等 「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。 ※参考受入場所は現場説明書による																	
	建設副産物の処理内容																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処 理 内 容</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 場 内 に お け る 分 別</td><td></td></tr> <tr> <td>現 場 内 分 別 保 管 場 所 の 設 置</td><td></td></tr> <tr> <td>現 場 内 分 別 保 管 場 所 ま で の 運 搬</td><td></td></tr> <tr> <td>分別保管場所からの積込み・運搬・処分</td><td></td></tr> <tr> <td>「建設副産物の処置計画画」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr> <tr> <td>「建設副産物の処理結果報告書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr> <tr> <td>「再生資源利用計画書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr> <tr> <td>「再生資源利用実施書」の作成</td><td>下請工事の場合は不要</td></tr> </tbody> </table>	処 理 内 容	備 考	現 場 内 に お け る 分 別		現 場 内 分 別 保 管 場 所 の 設 置		現 場 内 分 別 保 管 場 所 ま で の 運 搬		分別保管場所からの積込み・運搬・処分		「建設副産物の処置計画画」の作成	下請工事の場合は不要	「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要	「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要	「再生資源利用実施書」の作成
処 理 内 容	備 考																	
現 場 内 に お け る 分 別																		
現 場 内 分 別 保 管 場 所 の 設 置																		
現 場 内 分 別 保 管 場 所 ま で の 運 搬																		
分別保管場所からの積込み・運搬・処分																		
「建設副産物の処置計画画」の作成	下請工事の場合は不要																	
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要																	
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要																	
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要																	
「フロコンの使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。 <div> <div>           発注者（施設管理者）            ↓            工事請負業者            ↓            第1種フロコン充てん回収業者            ↓            フロコン破壊・再生業者         </div> <div>           業務用冷凍空調機器の有無の事前確認への協力            委託確認書            フロン回収引渡            回収・運搬・破壊費用支払            委託確認書            引取証明書            引取証明書、業者登録書のコピー            引取証明書、業者登録書のコピー            フロン回収証明書            引取証明書、業者登録書のコピー         </div> </div> ※ 工事請負業者は、第1種フロコン充てん回収業者にフロコン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロコン充てん回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図書に添付すること。 ※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。																		
水道配管設備	1. 水 源 2. 配 管 材 料 3. 誤接続の防止対策																	
	・雨水 ・雑用水処理水 ・井水 一般配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VA） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PA） ・塩ビライニング鋼管（SGP-VB） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PB） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）（屋内） ・鉄鉄管（型 種） ・ステンレス鋼管（SUS）（圧縮接合 ・溶接接合 ・拡管接合） ビット内配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） 屋内地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ※フタルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 屋外地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・水道用硬質塩化ビニル管（VP） ※フタルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ・ポリエチレン管 1種（PE）（溶着接合 ・金属継手接合）																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>配 管 等</th><th>※塗装できない管種にはテープ巻きを施すこと</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内隠へ配管</td><td>1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。</td></tr> <tr> <td>屋内・屋外露出配管</td><td>1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の要所には「処理水」と表示する。</td></tr> <tr> <td>地中埋設部</td><td>1. 埋設前の管管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。</td></tr> <tr> <td>コンクリート内埋設部の配管</td><td>2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地 中 埋 設 部）</td></tr> <tr> <td>メーター</td><td>1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。</td></tr> <tr> <td>バルブ等</td><td>1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作する恐れのある個所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。</td></tr> </tbody> </table>		配 管 等	※塗装できない管種にはテープ巻きを施すこと	屋内隠へ配管	1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。	屋内・屋外露出配管	1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の要所には「処理水」と表示する。	地中埋設部	1. 埋設前の管管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。	コンクリート内埋設部の配管	2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地 中 埋 設 部）	メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。	バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作する恐れのある個所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。		
配 管 等	※塗装できない管種にはテープ巻きを施すこと																	
屋内隠へ配管	1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。																	
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の管管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の要所には「処理水」と表示する。																	
地中埋設部	1. 埋設前の管管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。																	
コンクリート内埋設部の配管	2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地 中 埋 設 部）																	
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。																	
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作する恐れのある個所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。																	
注）若草色とは黄緑色をいう。 処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市工事組合に常備。井戸水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を紫色に」、「処理水を雑用水」と読みかえる。																		
試験	誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。																	

図1 防火区画等貫通部措置

給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の4第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

- 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。(右参考図参照)  
※ 耐火二層管は不燃材料に該当せず、後述の3.に従う。
- 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。(下表)  
(難燃材料又は硬質塩化ビニル管(VP)を用いる場合)

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径			
			防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造
給水管		5.5mm以上	90mm(75)			
		6.6mm以上	115mm(100)			
		4.1mm以上	61mm(50)			90mm
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	5.5mm以上	90mm(75)			
		6.6mm以上	115mm(100)			90mm
		4.1mm以上	61mm(50)			90mm
	厚さ0.5mm以上の鉄板の覆い有り	5.5mm以上	90mm(75)			
		6.6mm以上	115mm(100)			90mm
		7.0mm以上	141mm(125)		115mm	90mm

※表中の( )内は適合可能な硬質塩化ビニル管(JIS K 6741のVU管を除く)の呼び径寸法を示す。

※呼称寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質塩化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくても同一の性能を有しているものとして取り扱う。

- 国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例1) 硬質塩化ビニル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合(右参考図参照)

例2) 耐火二層管を認定条件に従って施工する場合  
(立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から1mまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質塩化ビニル管とした場合など)

図2 機器の吊り施工例

吊り長さが700mm以上、かつ重量10kg以上の設備機器については四脚吊り吊りボルトで支持し、隣り合う2本毎にX状斜材を締め具で堅固に取り付けて、天井との相関変位を抑制すること

対象 吊り長さL ≥ 700 mm  
機器重量W ≥ 10 kg

※ ただし、

- 天井吊形のファンコイル
- 天井吊形又はカセット形の空気調和機室内機
- 天井隠ぺい形全熱交換ユニット

の設置は、上記にかかわらず全て吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする

図3 配管埋設参考

埋設深さH	
1	300以上
2	600以上
3	以上

図4 弁枠

VC-1~VC-5

VC-P

記号	弁の呼び径	B	H	T	t'	t''	ふた
VC-P	25 以下	200φ	—	—	—	—	B 1
VC-1	40 以下	180x180	550	75	75	75	B 1
VC-2			850	100	100	100	
VC-3	50~80	300x300	700	100	100	120	MHA-P300
VC-4			900	—	—	—	—
VC-5	100~200	450x450	1,200	120	120	120	MHA-P450

注(イ) 本表のB及びH寸法は、5K仕切弁を対象とする。  
(ロ) コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。なおコンクリート部は工場製品でもよい。  
(ハ) 樹底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。

**図5 異種金属接続部**

異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。使用箇所を下記に示す。

1. 砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（コア入りバルブは除く。）

2. 衛生器具（水栓類、便器、洗面器等）接続部と塩ビライニング鋼管接続部

3. マイクロエアベンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部  
絶縁エルボ又は絶縁オスメスソケットを使用すること。

4. 水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部

5. 水抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部

6. 上記以外の異種金属接続部

ダクトの長辺	板厚						
	亜鉛鉄板	ステンレス鋼板					
450以下	0.6以上	0.5以上					
450を超え1,200以下	0.8以上	0.6以上					
1,200を超え1,800以下	1.0以上	0.8以上					
1,800を超えるもの	1.2以上						
<b>工事名称</b>		福岡県立大学4号館空調改修設備工事		<b>R4-5</b>		<b>令和 5 年 2 月 日</b>	
<b>工事場所</b>		福岡県田川市伊田4395		<b>特記仕様書(2)</b>			
<b>設計者氏名事務所所在地</b>	<b>設計者氏名</b>	1級建築士登録第 号 建築設備士第 号		<b>図番</b>	M-02号		
	<b>事務所名</b>	<b>福岡県建設都市営繕設備課</b>		<b>号印</b>			
	<b>及び所在地</b>			福岡市博多区東公園7番7号			

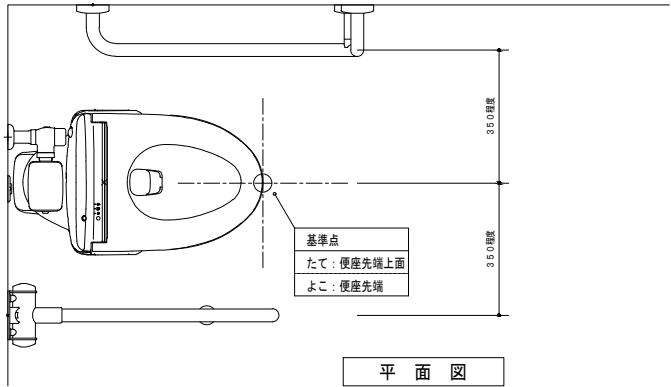
塗りつぶした所を適用する

施工区分表（営繕工事）															
工 事 内 容				建築	外構	植栽	電気	電話	昇降	給衛	空調	ガス	別途	備 考	
機 器 の 基 礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎 （アンカーボルト除く）	屋 内	○										電気と十分協議すること	
			屋 外	○											
			屋 上	○											
		自家発電機の基礎（アンカーボルト除く）		○											
		テレビアンテナの基礎（アンカーボルト除く）		○											
	避雷針の基礎（アンカーボルト除く）		○												
	機 械 関 係	屋内設置（アンカーボルト除く）		○											機械と十分協議すること
		屋外設置（架台・アンカーボルト含む）		○											
屋上設置（架台・アンカーボルト除く）		○													
特記した基礎															
開 口 部 （設備工事で 必要な開口部）	梁・床・壁 貫通スリーブ	補強を要するもの				○	○	○	○	○	○	○			
		補強を要しないもの				○	○	○	○	○	○	○			
	梁・床・壁 貫通部型枠	補強を要するもの	○												
		補強を要しないもの	○												
	軽量鉄骨下地 壁・天井等'-''類の切込み	補強を要するもの	●												
		補強を要しないもの	●												
	埋込型分電盤 端子盤等の型枠	補強を要するもの	○												
		補強を要しないもの	○												
	上記開口部の補強		●												
	上記開口部の畳出し						●	○	○	○	●	○			
スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）						●	○	○	○	●	○				
OAフロア器具取付用		○													
点 検 口	床・壁・天井		●												
ガ ラ リ	外壁面（ダクト・チャンバーの接続用含む）		○												
	建具取付		○												
	空調用リターン										○				
排 気 フ ード	厨房										○	○	○		
	上記以外		○								○	○	○		
換気扇の取付枠及びアルミパネル			○												
換 気 扇	壁換気扇（ウェザーカバー含む）										○				
	天井換気扇（ベントキャップ含む）										○				
流 し 台	排水トラップを含む		○												
防 油 堤	オイルサービスタンの防油堤		自家発電用	○											
			空 調 用	○											
床下水槽のマンホール蓋			○												
屋 外 排 水 管	雨水		○												
	汚水・雑排水管									○					
雨水竖樋			○												
身障者用便所手すり			○												
はめ込み形洗面器用カウンター（前板共）			○												
ガスボンベ転倒防止用の鎖												○			
機 器 の 配 管 配 線	機械設備機器附属の制御盤以降の配管配線（接地共）										○				
	機械設備機器附属の制御盤の電源供給及び配管配線						○								
	機械設備自動制御と電気設備制御盤との電源供給						○								
	機械設備自動制御と電気設備制御盤との操作回路の渡り配管配線										○				
	天井吊り型FCU・個別パッケージ・全熱交換器と操作スイッチとの渡り配管						●								
	天井吊り型FCU・個別パッケージ・全熱交換器と操作スイッチとの渡り配線										●				
	天井吊り型FCU・個別パッケージ・全熱交換器の操作スイッチ										●				
	天井吊り型FCU・個別パッケージ・全熱交換器の操作スイッチ埋込ボックス						●								
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線						○								
	小便器用排水装置制御盤以降の配管配線										○				
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給						○								
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部			○											
	自動ドア及び電動シャッターなどの操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ						○								
	防火扉レリーズ						○								
	電極棒						○								
	配線ピット及び蓋			○											
パッケージエアコン の 配 管 配 線	別途機器などへの接続						○			○	○				
	室外機・室内機間の伝送線										●				
	室外機・室内機間の電源渡り線										○				
	室内機・リモコン間の配線										●				
	室内機・リモコン間の配管						●								
	リモコン埋込ボックス						●								
室内機・集中リモコン間の渡り伝送線										●					
ガス漏れ検知器（遮断弁連動）												○			
OAフロア用配線器具						○									
電 気 錠	電気錠及び通電器具		○												
	TENキー及び制御盤					○									
エレベーター出入口三方枠（金属製）									○					大理石のみ建築工事	
シャワーユニット（バスユニット）			○												
ガス給湯器リモコン用ケーブル										○		○			
ガス給湯器電線管及びボックス						○									
受 水 槽	受水槽本体										○				
	受水槽機器										○				
	制御盤（ポンプ・遮断弁）の一次側電源						○								
	水張り（1回目） 満水試験、水抜き、清掃										○				
	水張り（2回目） 水質検査、残留塩素測定、通水試験、洗管										○				
	水張り（3回目） 水張り、保健所への届け出										○				
	ポンプ制御盤（ポンプに付属）										○				
	電磁弁、電極座、換気扇、サーモスイッチ（電気渡し）										○				
	電極棒、電極カバー										○				
	遮断弁・電磁弁・電極に至るまでの配線・配管・ボックス										○				
	照明及び、照明・換気扇に至るまでの電灯配線配管						○								

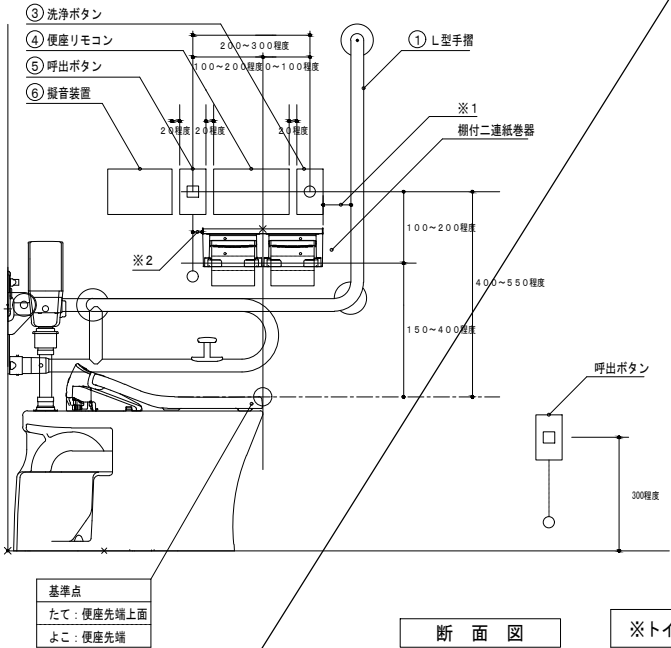
多目的便所器具設置要領図

A1:1/10  
A3:1/20

※大便秘器位置、手すり、紙巻器 取付位置は 要領図に準じること。



平 面 図



断 面 図

※トイレリモコンの設置位置は、JIS-S-0026によること。

① L型手摺	(建築工事)
たて: 基準点 +250程度	
FL+650 (一般便器)	
FL+700 (高座面便器)	
よこ: 基準点 +250程度	

② 欄付二連紙巻器	(機械工事)
よこ: 紙巻器芯=基準点	
※1 手摺面との間を50mm以上	
確保	

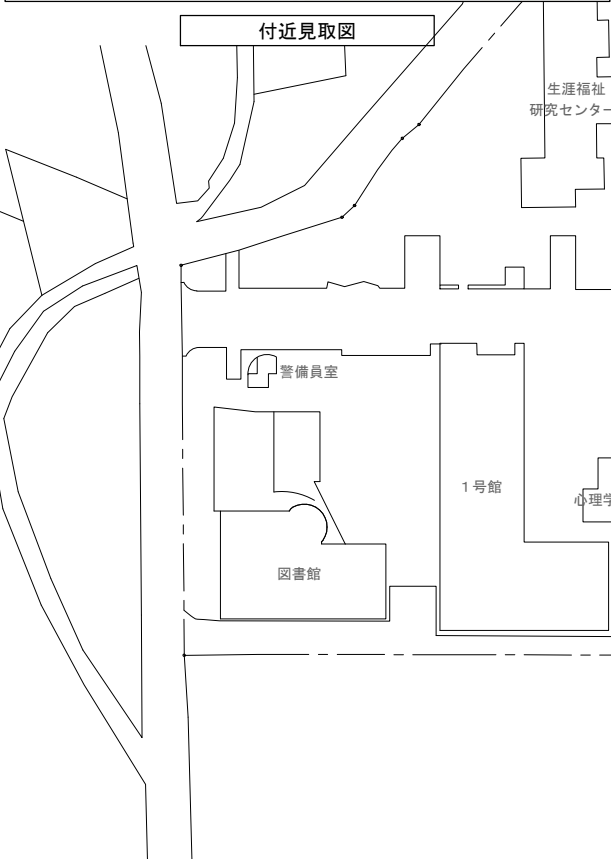
③ 洗浄ボタン	(機械工事)
---------	--------

④ 便座リモコン	(機械工事)
----------	--------

⑤ 呼出ボタン	(電気工事)
※2 引きひもが欄に掛らない事。	

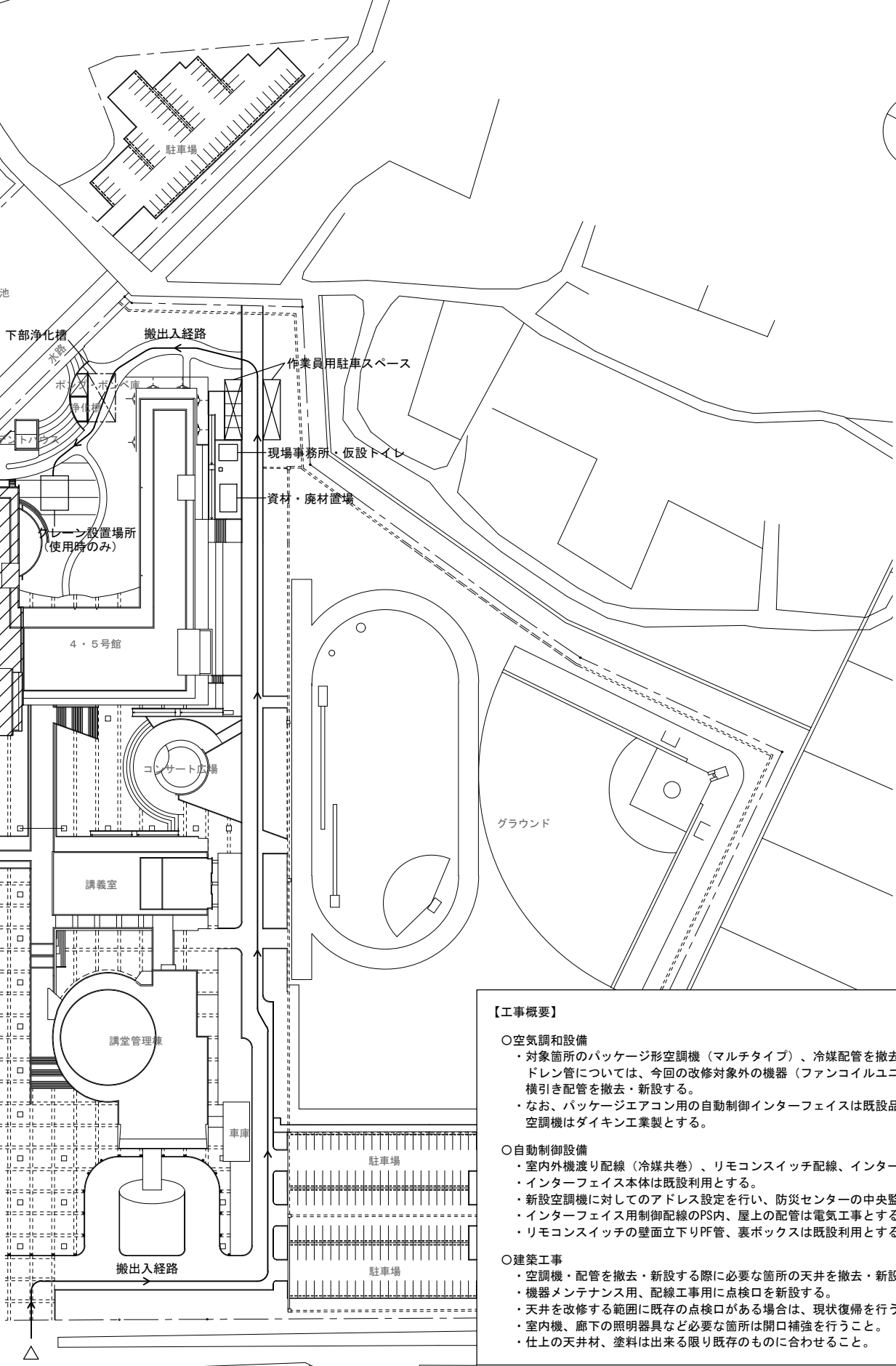
⑥ 騒音装置	(機械工事)
--------	--------

令和 5 年 2 月 日		R4-5			
工事名称	福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事			施 工 区 分 表	
工事場所	福岡県田川市伊田 4 3 9 5			図 番	M-03号
設計者氏名	1級建築士登録第	号	建築設備士第	号	
設計事務所名及び所在地	福岡県建築都市部営繕設備課				
福岡市博多区東公園 7 番 7 号					



概略工事工程表（案）

工事区分	年月		2024年						2025年
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
準備工事	準備（現地調査・製作図承認承諾・機器資材手配、製作）								
空調改修工事				空調改修工事	受電	試運転調整			
検査						部分使用検査	竣工検査・手直し		
引渡し								引渡し	
※空調利用停止期間									



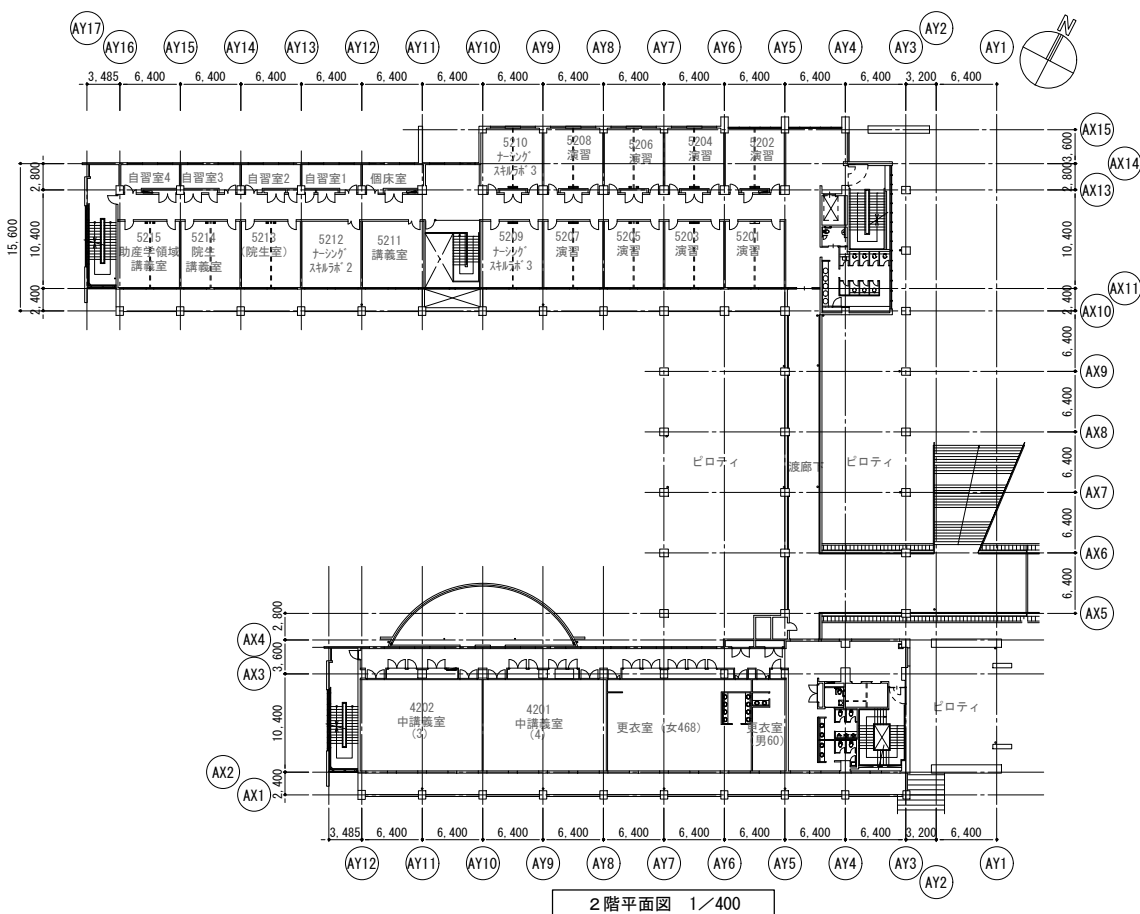
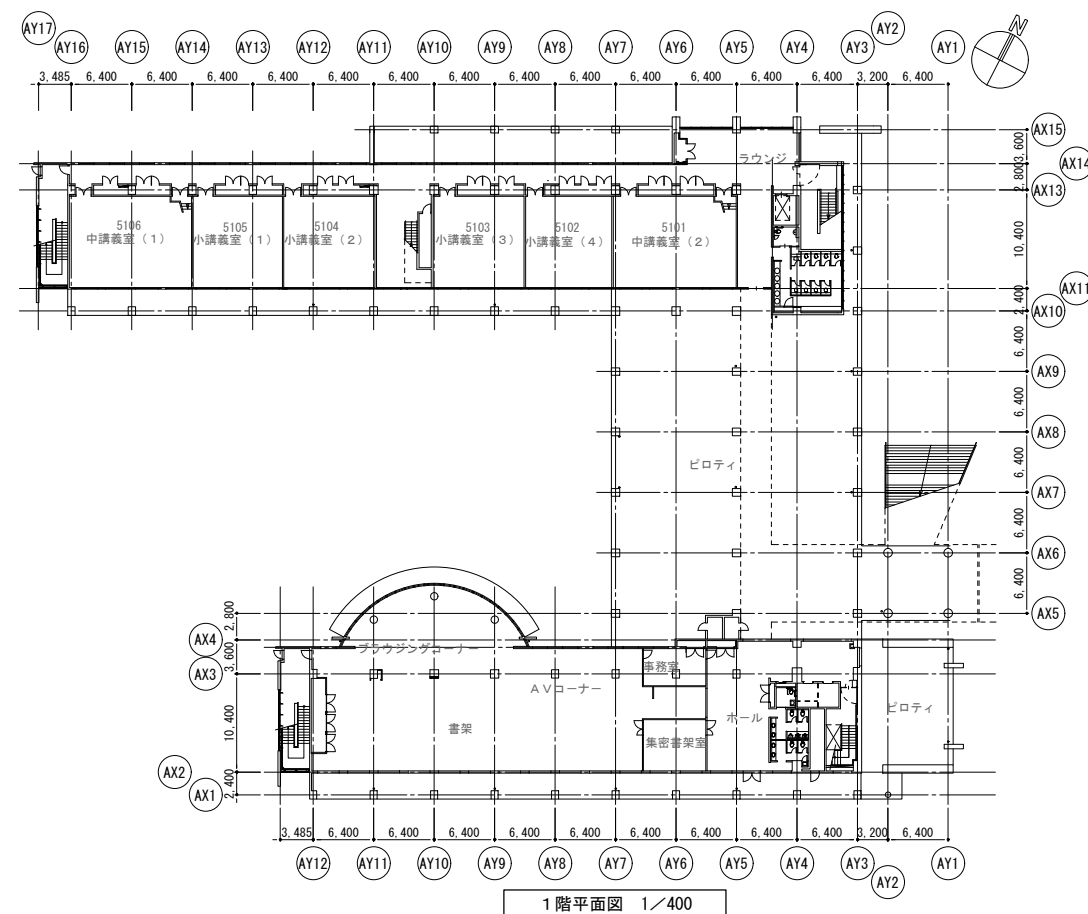
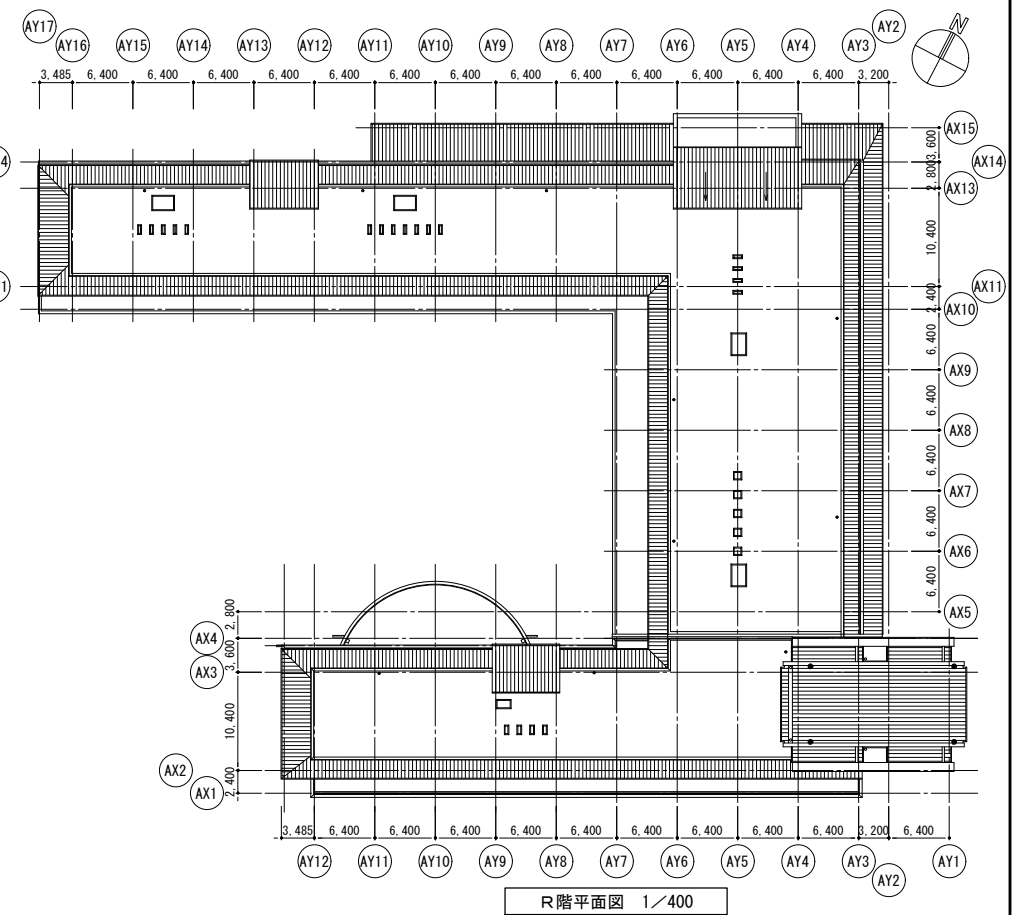
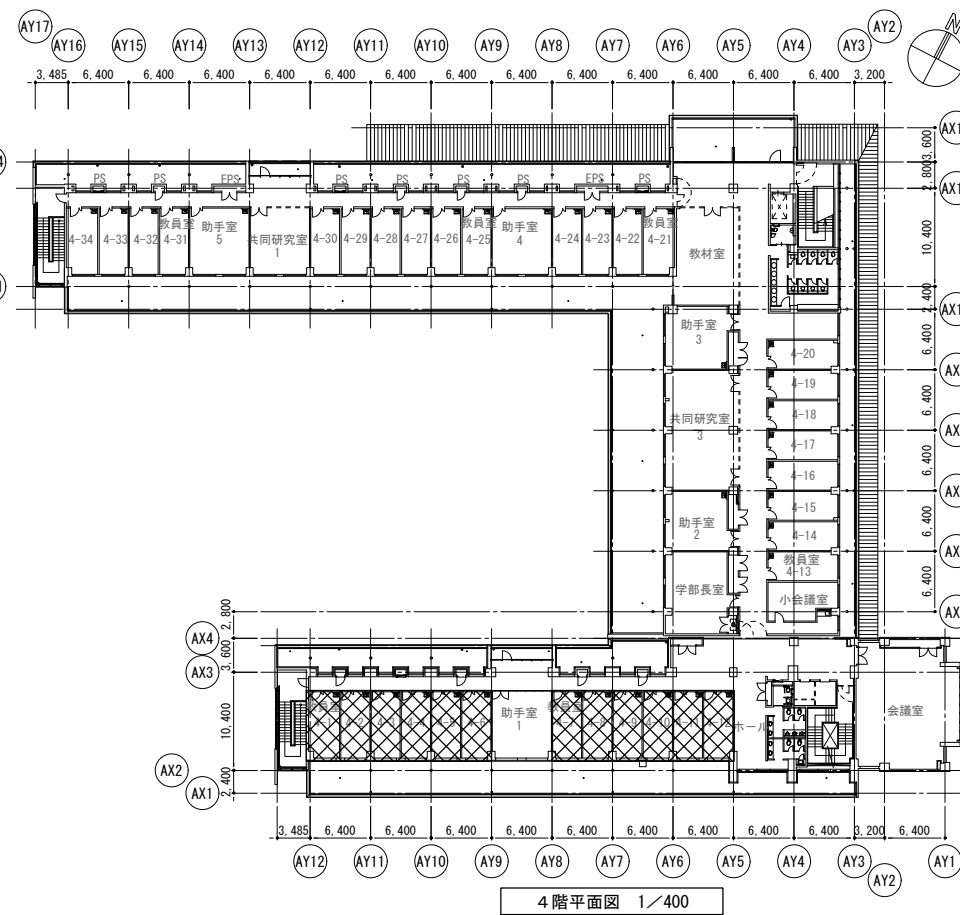
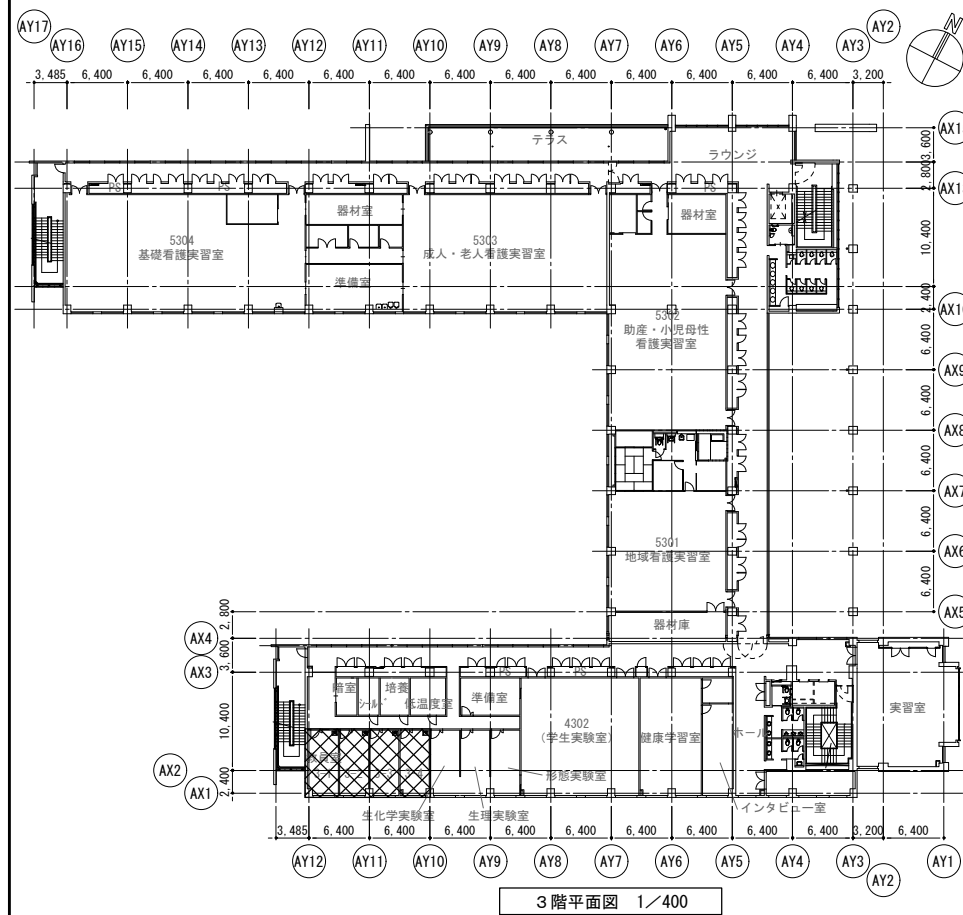
【工事概要】


- 空調調和設備
  - ・対象箇所のパッケージ形空調機（マルチタイプ）、冷媒配管を撤去・新設する。  
ドレン管については、今回の改修対象外の機器（ファンコイルユニット等）に影響のない範囲で横引き配管を撤去・新設する。
  - ・なお、パッケージエアコン用の自動制御インターフェイスは既設品（ダイキン工業製）を使用するため、空調機はダイキン工業製とする。
- 自動制御設備
  - ・室内外機渡り配線（冷媒共巻）、リモコンスイッチ配線、インターフェイス用制御配線を撤去・新設する。
  - ・インターフェイス本体は既設利用とする。
  - ・新設空調機に対してのアドレス設定を行い、防災センターの中央監視装置にて監視可能とすること。
  - ・インターフェイス用制御配線のPS内、屋上の配管は電気工事とする。
  - ・リモコンスイッチの壁面立下りPF管、裏ボックスは既設利用とする。
- 建築工事
  - ・空調機・配管を撤去・新設する際に必要な箇所の天井を撤去・新設する。
  - ・機器メンテナンス用、配線工事に点検口を新設する。
  - ・天井を改修する範囲に既存の点検口がある場合は、現状復帰を行うこと。
  - ・室内機、廊下の照明器具など必要な箇所は開口補強を行うこと。
  - ・仕上の天井材、塗料は出来る限り既存のものに合わせること。

（発注図）

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事	
配置図・付近見取図・概略工事工程表（案）	NO. M - 04
SCALE A1 : S=1/800 A3 : S=1/1600	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



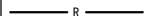
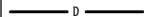





【注記】  
1.  は空調機改修対象室を示す。  
(配管や配線のルートとなる廊下や屋上等も工事範囲となる)

発注図)

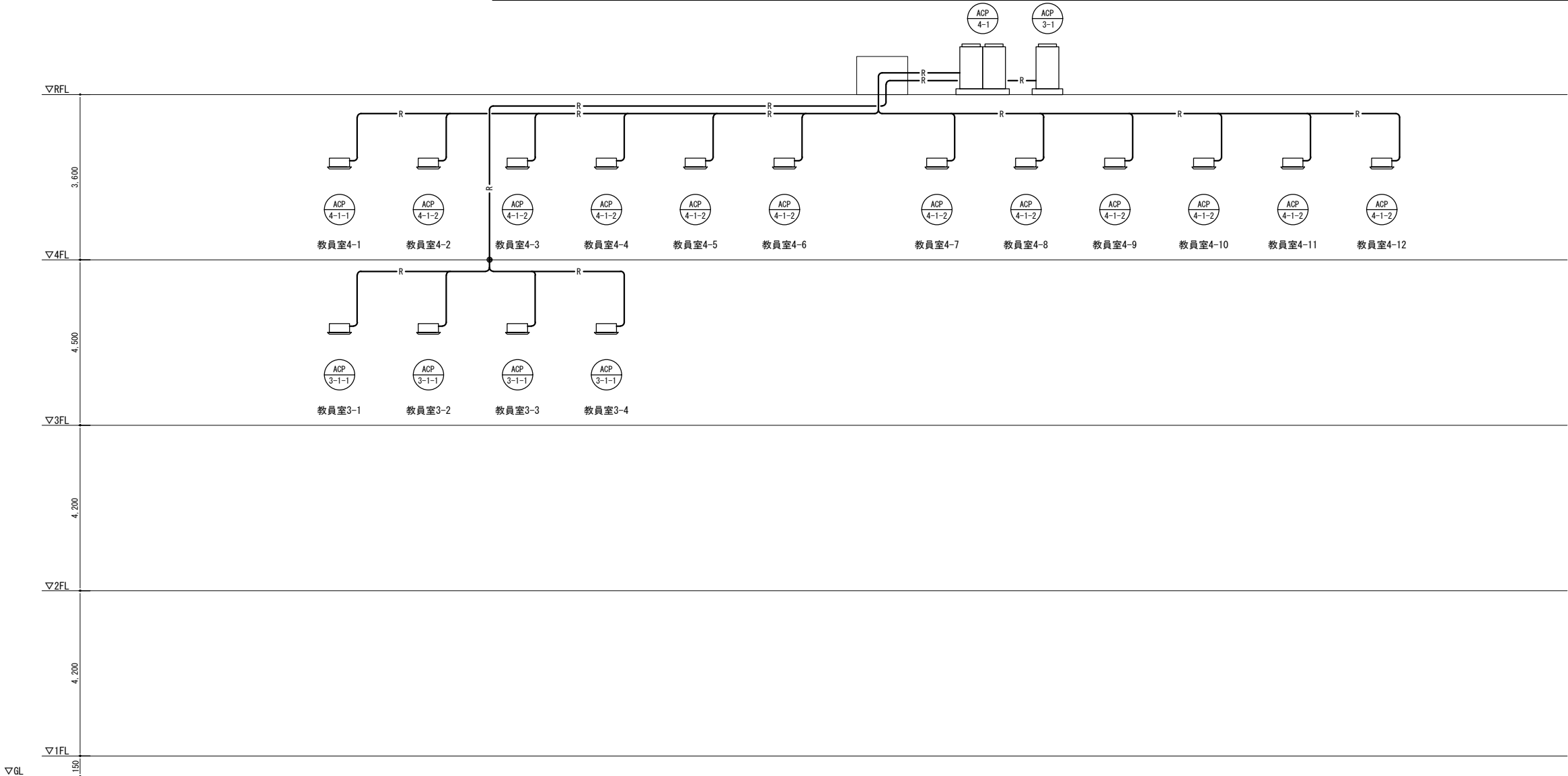
福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		No.  M - 05
各階全体平面図		
SCALE	A1 : S=1/400    A3 : S=1/800	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	

凡例



記号	名称	備考
	冷媒管	断熱材被覆銅管
	ドレン管（屋内一般）	結露防止層付塩化ビニル管（AC-VP）
	配線（隠ぺい）	
	配線（露出）	
	リモコンスイッチ	室内機用個別リモコン

機器表 ※電気容量は参考値とする。

記号	名称	仕様	電源 [φ-V]	電気容量 [kW]	台数	リモコン 個数	設置場所	備考
ACP 3-1	空冷ヒートポンプ式	マルチタイプ（インバータ制御）			1			
	パッケージ形空調機	室外機 冷房能力：16.0kW、暖房能力：18.0kW 圧縮機：3.97kW、送風機：0.32kW	3-200	4.47	(1)	—	R階 屋上	参考型番：RXYP160DD（ダイキン工業） コンクリート基礎は既設利用とする
		室内機(1)天井カセット形（2方向吹出形） 冷房能力：3.6kW、暖房能力：4.0kW 送風機：0.046kW	1-200	0.04	(4)	4	3階 教員室3-1～3-4	参考型番：FXYP36EB（ダイキン工業）
		室外機用スプリング防振架台、室内機用ドレンアップ機能、 リモコンスイッチ、冷媒配管配線、他必要付属品共						
ACP 4-1	空冷ヒートポンプ式	マルチタイプ（インバータ制御）			1			
	パッケージ形空調機	室外機 冷房能力：40.0kW、暖房能力：45.0kW 圧縮機：9.16kW、送風機：0.74kW	3-200	10.6	(1)	—	R階 屋上	参考型番：RXUP400FCR（ダイキン工業） コンクリート基礎は既設利用とする
		室内機(1)天井カセット形（2方向吹出形） 冷房能力：3.6kW、暖房能力：4.0kW 送風機：0.046kW	1-200	0.04	(1)	1	4階 教員室4-1	参考型番：FXYP36EB（ダイキン工業）
		室内機(2)天井カセット形（2方向吹出形） 冷房能力：2.8kW、暖房能力：3.2kW 送風機：0.046kW	1-200	0.04	(11)	11	4階 教員室4-2～4-12	参考型番：FXYP28EB（ダイキン工業）
		室外機用スプリング防振架台、室内機用ドレンアップ機能、 リモコンスイッチ、冷媒配管配線、他必要付属品共						
【空調機器特記事項】								
1. 表中の機器能力はJIS条件値とする。								
2. 冷媒は新冷媒とする。								
3. 空調機は2015年省エネ基準対応品（各メーカー最高APF機種）とする。								
4. 室外機・室内機間の渡り配線及び室内機・リモコンスイッチ間のリモコン配線は本工事とし、配管、一次側電気工事は別途電気設備工事とする。 またリモコンスイッチ配線の立下りは既設のPF管・裏ボックスを使用する。								
5. 既存のインターフェイス（ダイキン工業製）を中継して中央監視を行うため、パッケージ形空調機はダイキン工業製とする								



空調調和設備 配管系統図（改修後）

- 【注記】
-  は新設を示す。
  -  は防火区画貫通処理を示す。

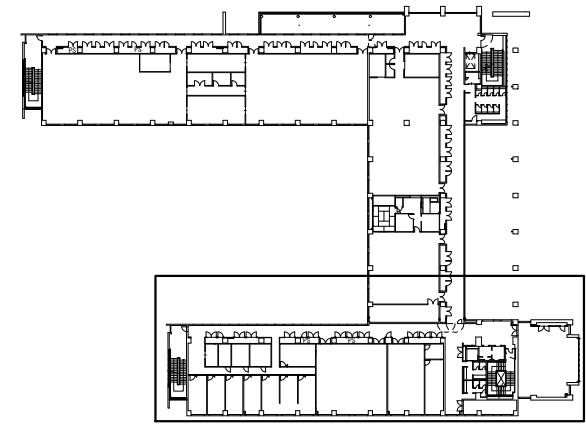
（発注図）

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
空調調和設備 凡例・機器表・配管系統図（改修後）	NO.	M - 06
SCALE		
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	

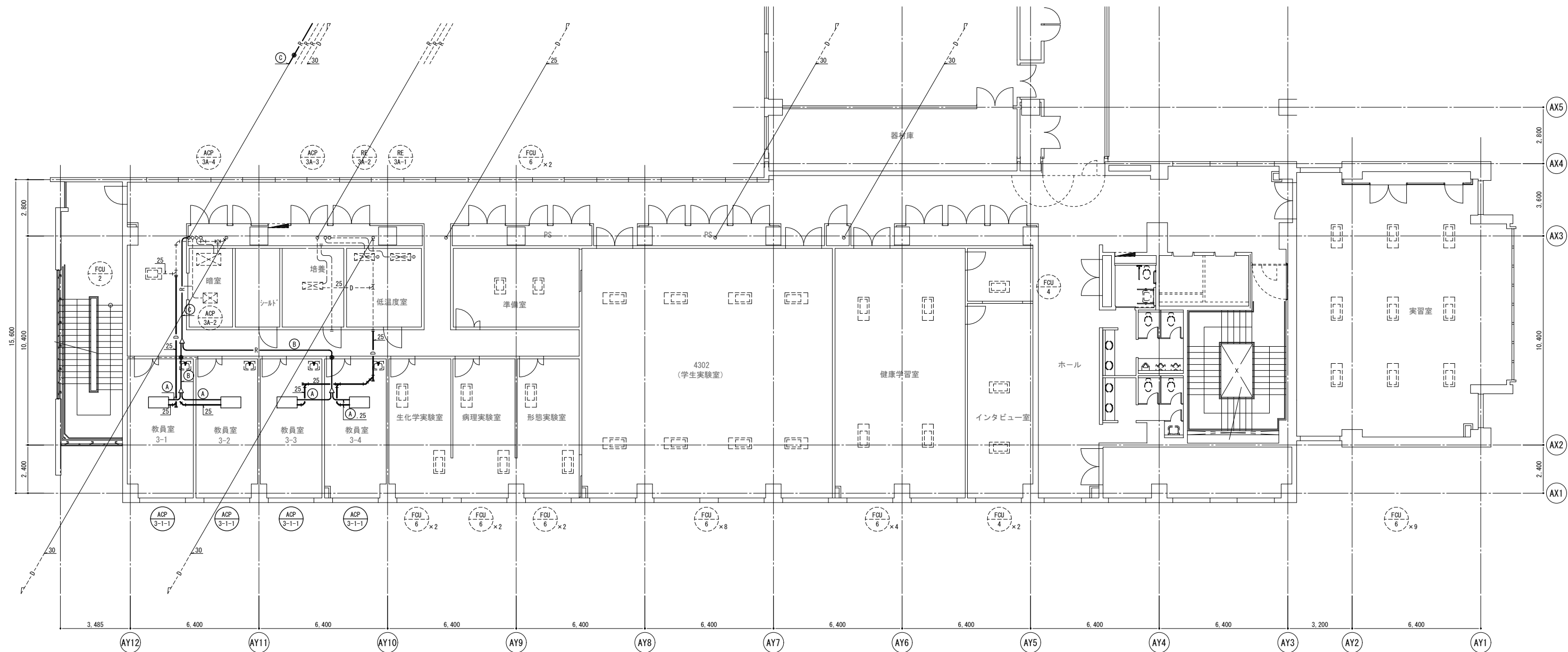


冷媒管サイズ		
記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	28.58

※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 3階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. — は新設を示し、----- は既設を示す。
  2. -.- は既設配管への接続を示す。
  3. ● は防火区画貫通処理を示す。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		NO. M - 07
空調設備 3階平面図 (改修後)		
SCALE	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	

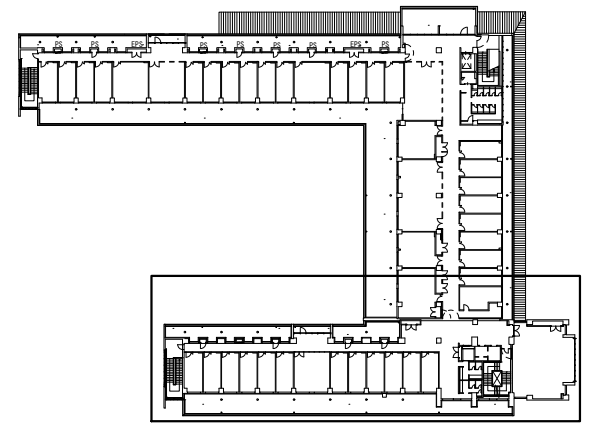




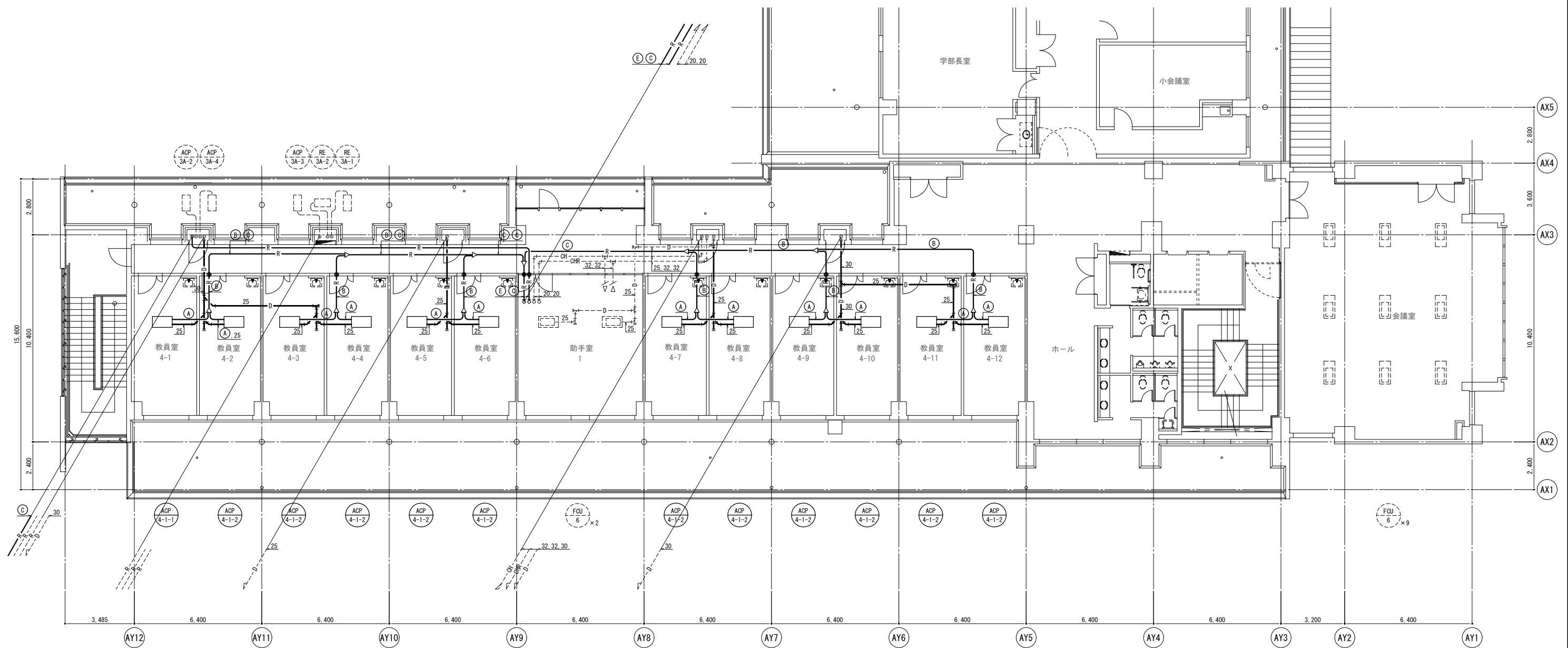
冷媒管サイズ

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	28.58

※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 4階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. — は新設を示し、----- は既設を示す。
  2. — は既設配管への接続を示す。
  3. ● は防火区画貫通処理を示す。

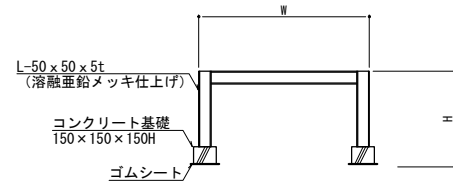
福岡県立大学 4号館空調改修設備工事	
空調設備 4階平面図 (改修後)	NO. M - 08
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



冷媒管サイズ

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	28.58

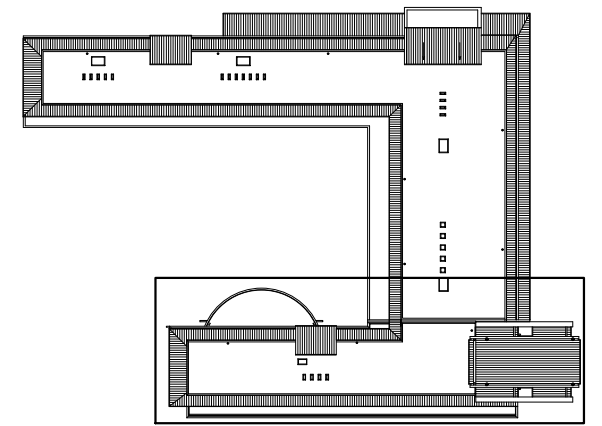
※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。



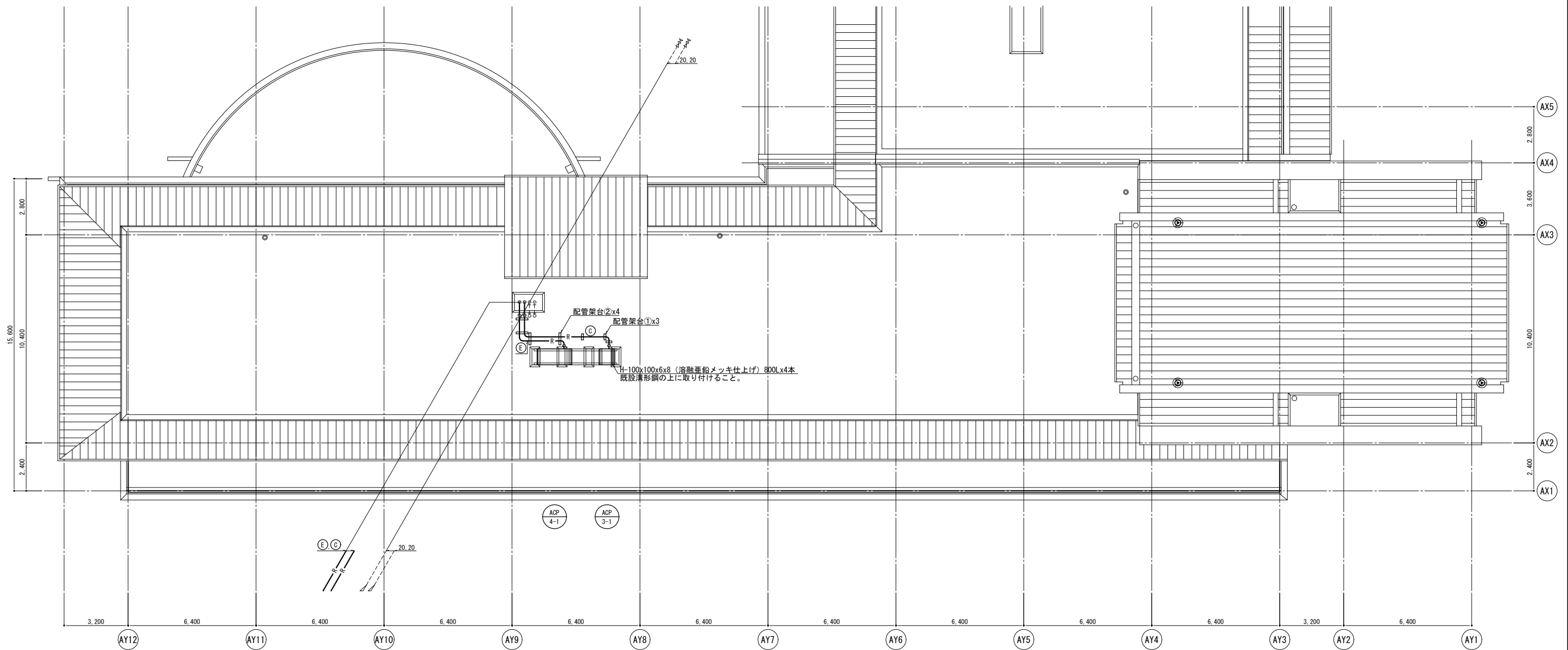
架台要領図 (参考)

架台寸法表

記号	W	H	数量
①	300	300	3
②	600	300	4



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 R階平面図 (改修後) 1/100

【注記】

- は新設を示し、----- は既設を示す。
- は既設配管への接続を示す。
- は防火区画貫通処理を示す。

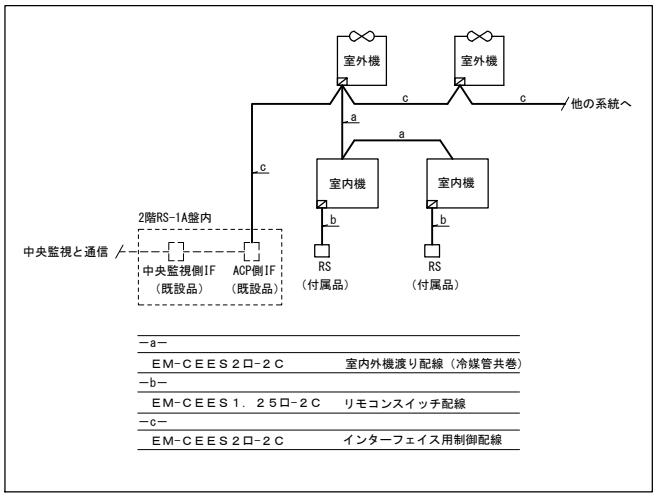
福岡県立大学 4号館空調改修設備工事

空調設備 R階平面図 (改修後)

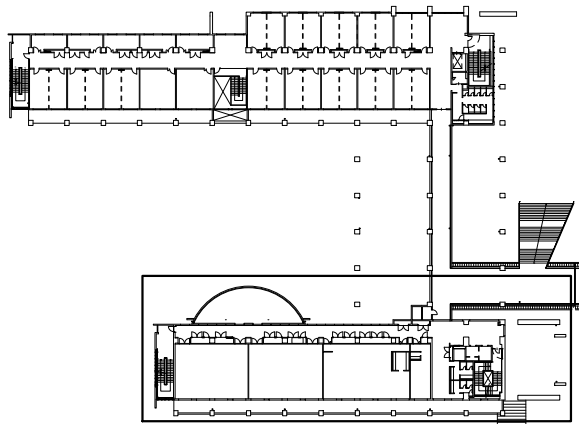
NO.  
M - 09

SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

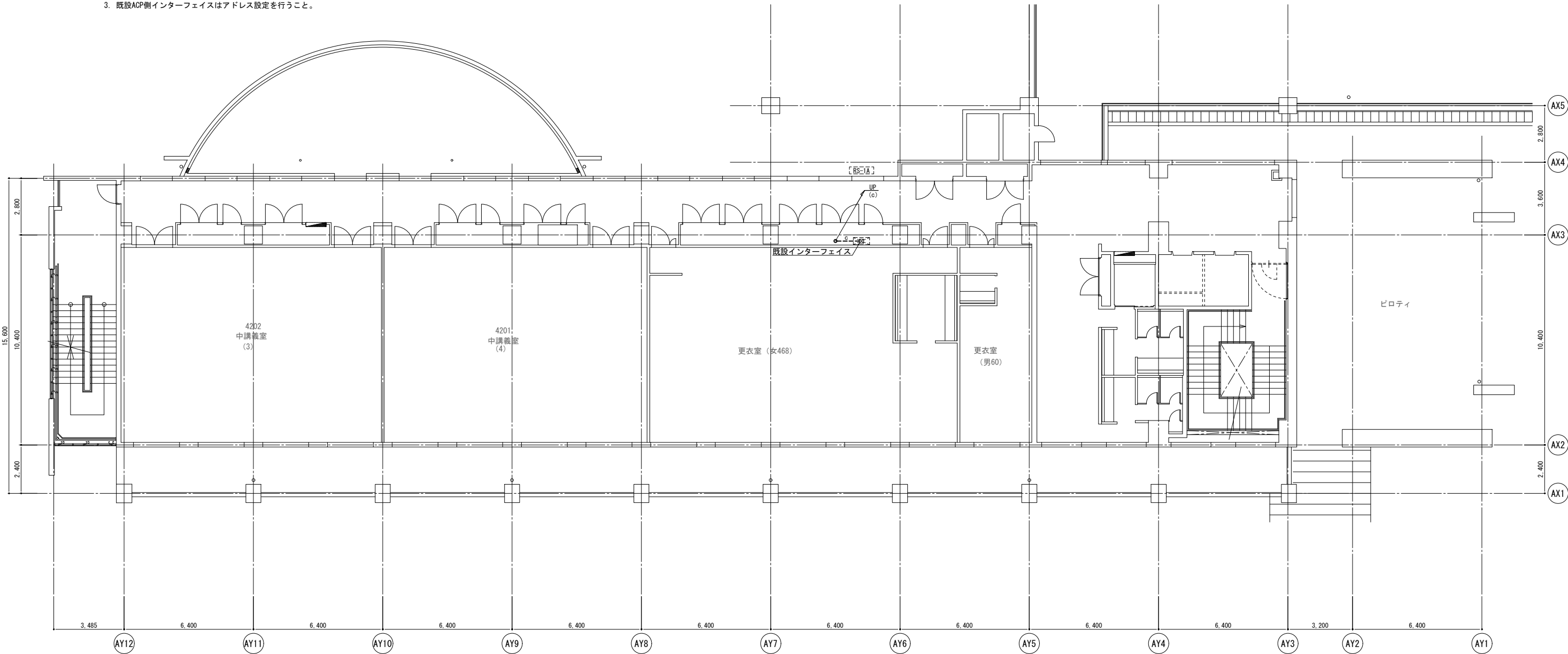
株式会社 新日本設備計画九州事務所 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



- 【注記】
1. インターフェイス用制御配線のPS内・屋上の配管は電気設備工事とする。
  2. リモコンスイッチ配線の壁面立下りPF管・裏ボックスは既設再使用とする。
  3. 既設ACP側インターフェイスはアドレス設定を行うこと。



KEY PLAN

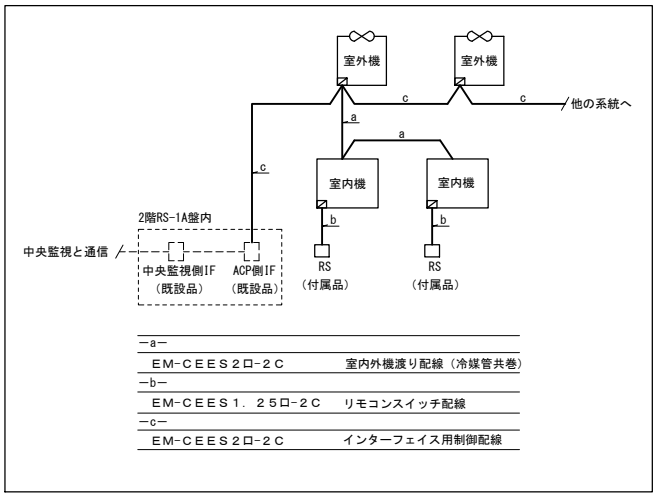


(発注図)

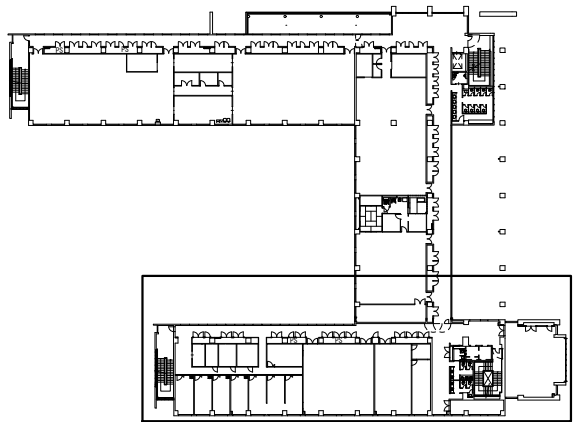
自動制御設備 2階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. — は新設を示し、---- は既設を示す。
  2. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻とし、配線ルートは空調和設備平面図を参照のこと。

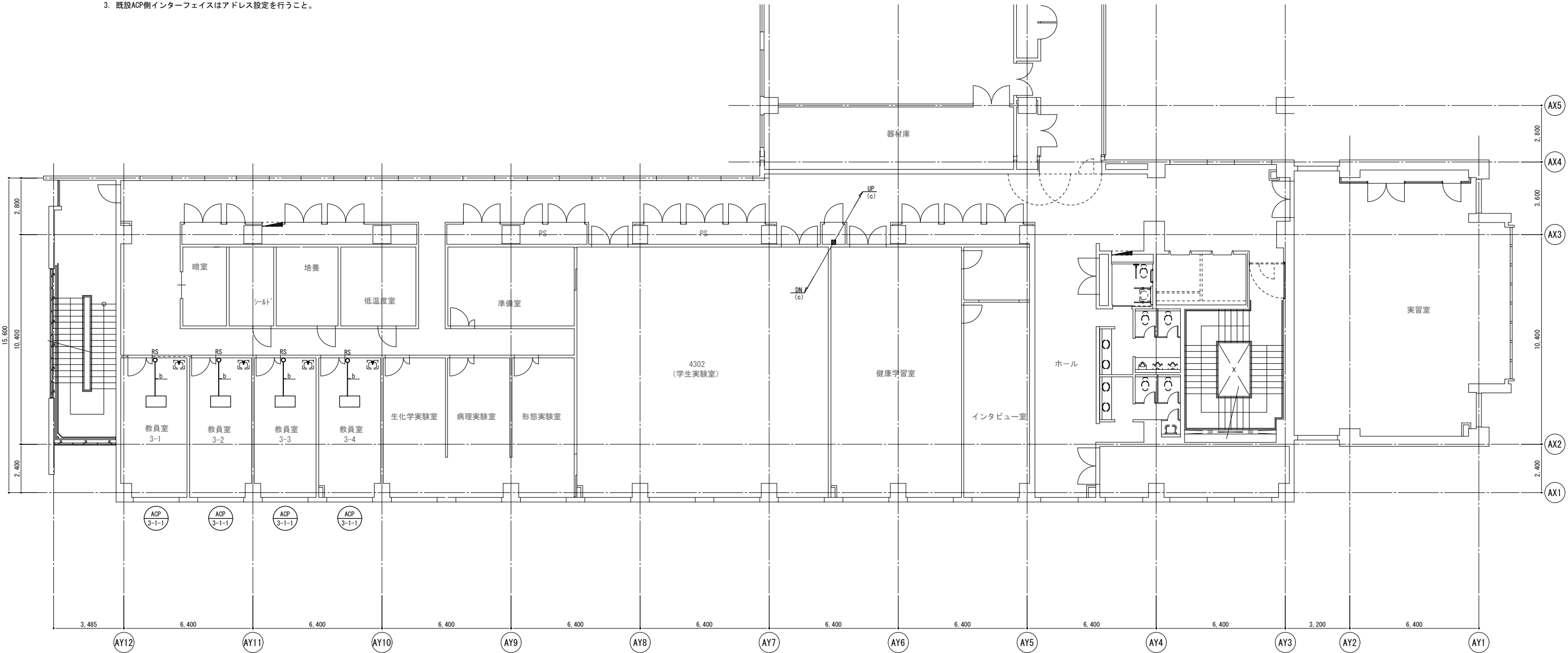
福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
自動制御設備 2 階平面図 (改修後)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 10
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



- 【注記】
1. インターフェイス用制御配線のPS内・屋上の配管は電気設備工事とする。
  2. リモコンスイッチ配線の壁面立下りPF管・裏ボックスは既設再使用とする。
  3. 既設ACP側インターフェイスはアドレス設定を行うこと。



KEY PLAN

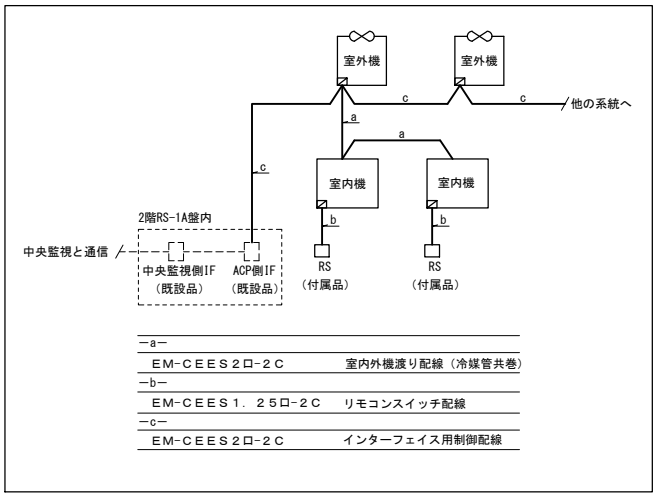


(発注図)

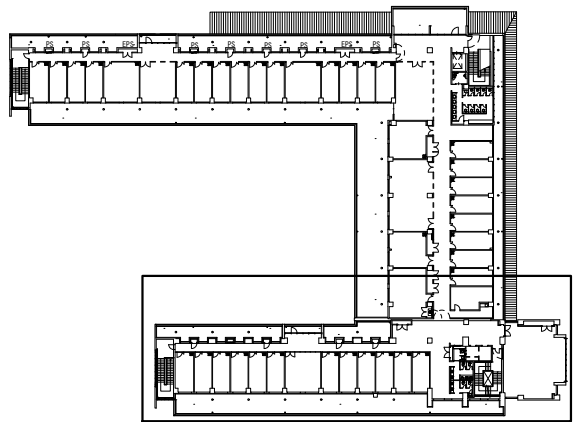
自動制御設備 3階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. — は新設を示し、---- は既設を示す。
  2. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻きとし、配線ルートは空気調和設備平面図を参照のこと。

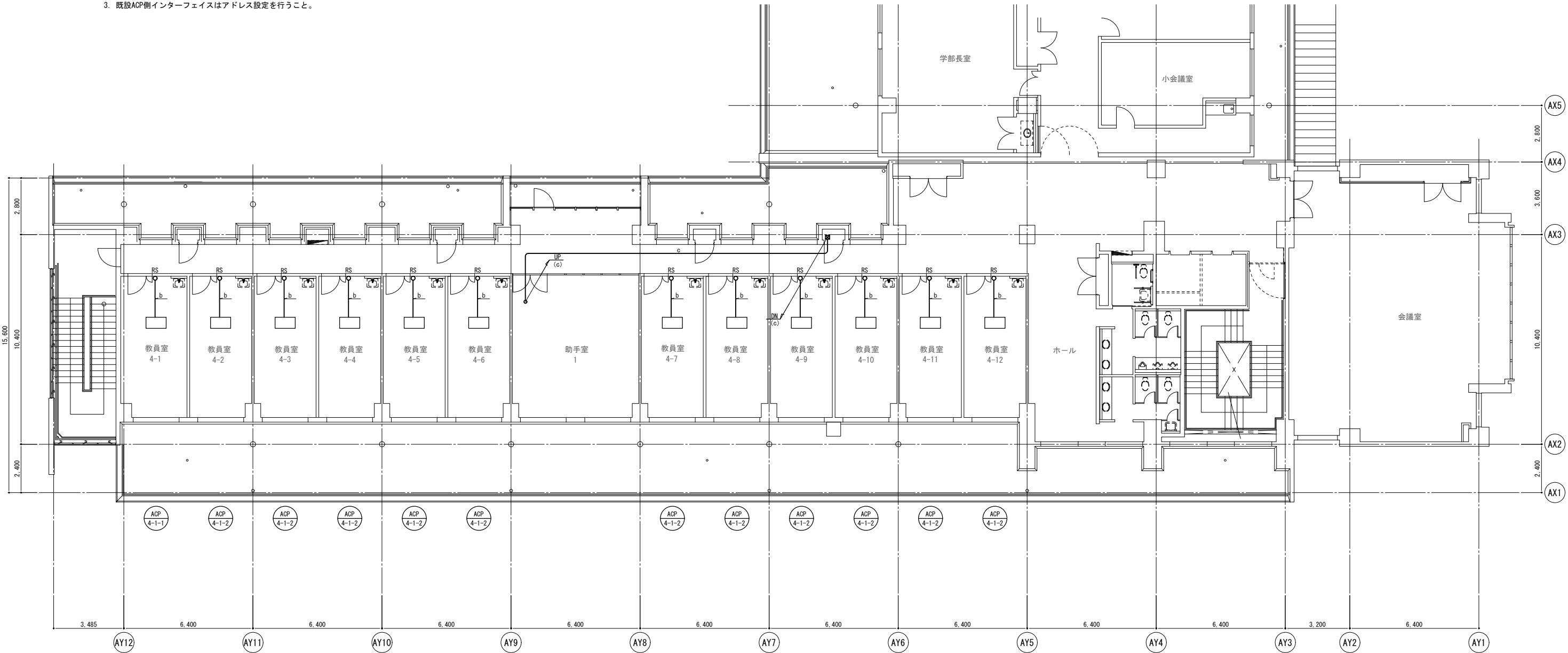
福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
自動制御設備 3階平面図 (改修後)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 11
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



- 【注記】
1. インターフェイス用制御配線のPS内・屋上の配管は電気設備工事とする。
  2. リモコンスイッチ配線の壁面立下りPF管・裏ボックスは既設再使用とする。
  3. 既設ACP側インターフェイスはアドレス設定を行うこと。



KEY PLAN

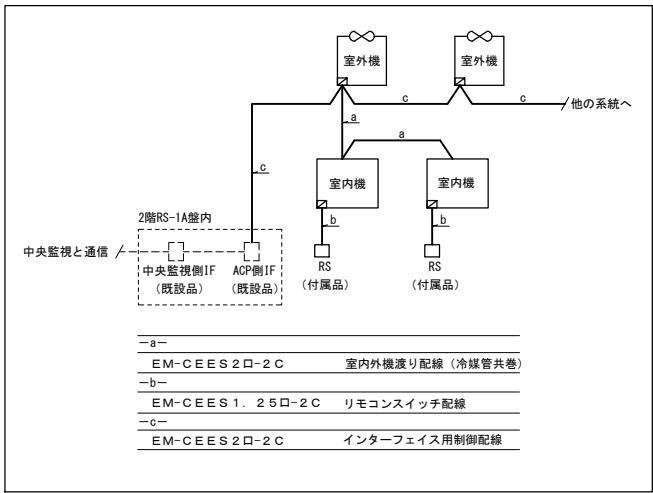


(発注図)

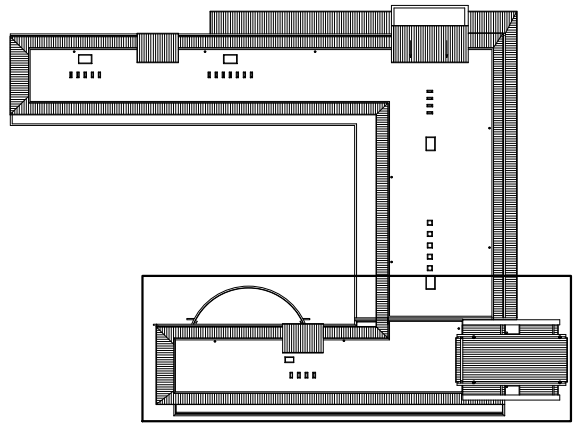
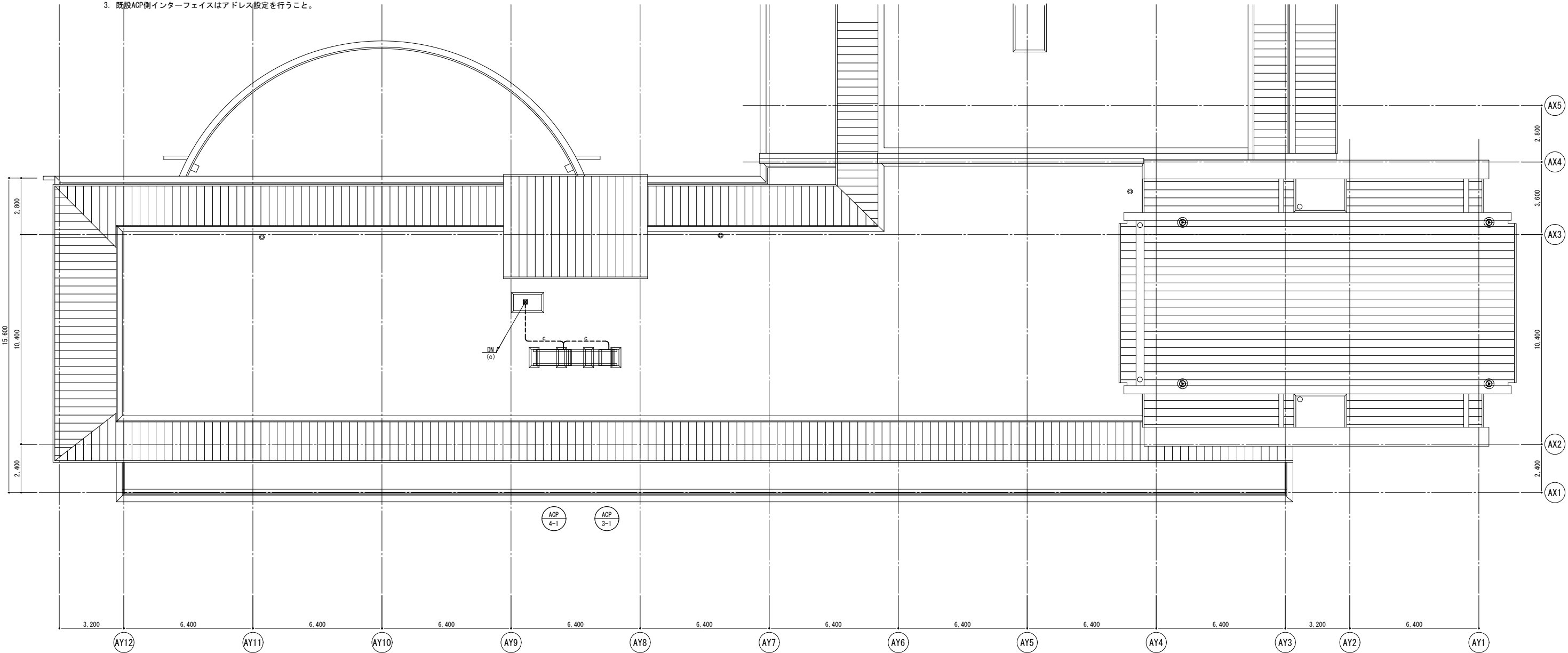
自動制御設備 4階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. — は新設を示し、---- は既設を示す。
  2. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻とし、配線ルートは空気調和設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事	
自動制御設備 4階平面図 (改修後)	NO. M - 12
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



- 【注記】
1. インターフェイス用制御配線のPS内・屋上の配管は電気設備工事とする。
  2. リモコンスイッチ配線の壁面立下りPF管・裏ボックスは既設再利用とする。
  3. 既設ACP側インターフェイスはアドレス設定を行うこと。



KEY PLAN

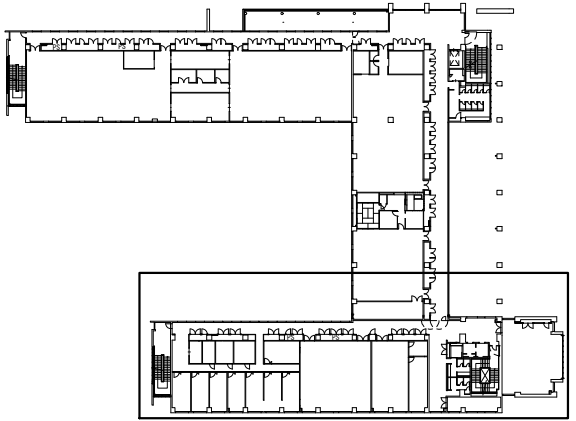
(発注図)

自動制御設備 R階平面図 (改修後) 1/100

- 【注記】
1. ——— は新設を示し、----- は既設を示す。
  2. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻とし、配線ルートは空調和設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
自動制御設備 R階平面図 (改修後)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 13
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



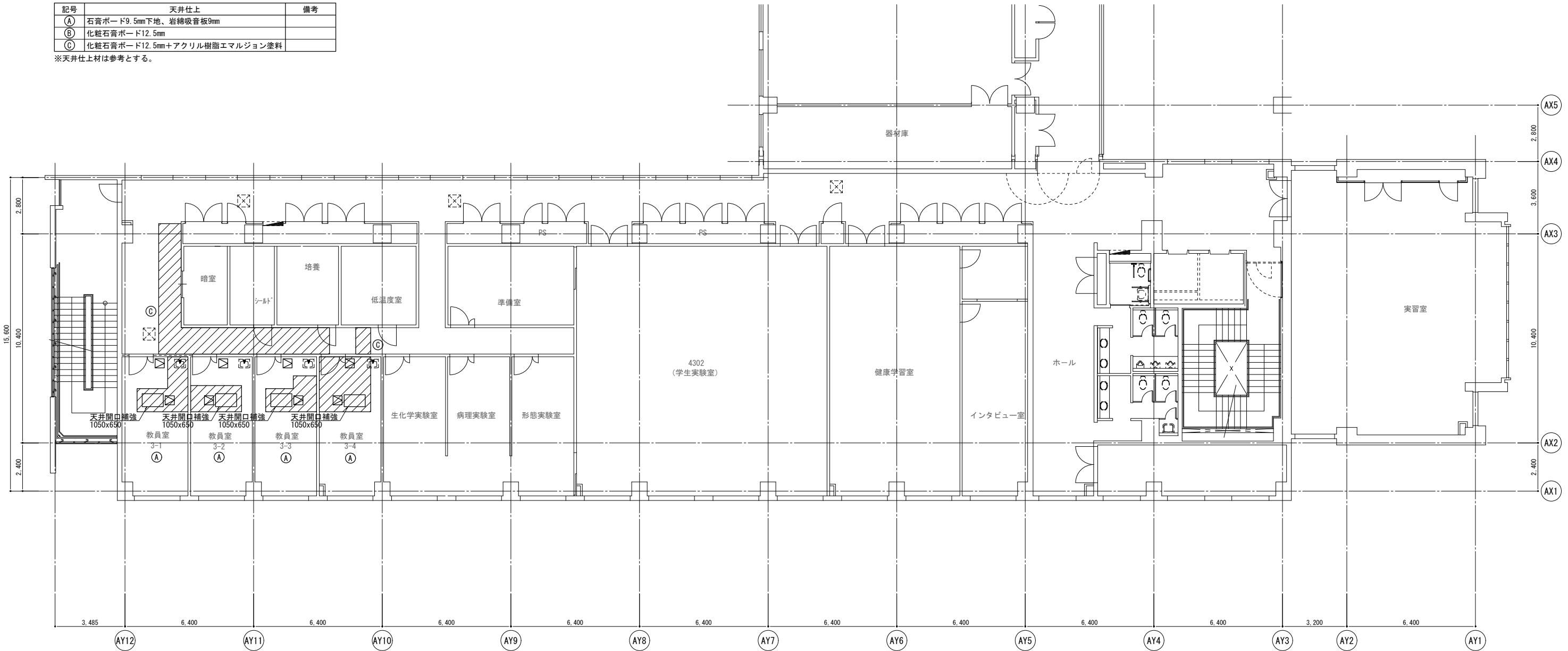


KEY PLAN

天井仕上表

記号	天井仕上	備考
Ⓐ	石膏ボード9.5mm下地、岩綿吸音板9mm	
Ⓑ	化粧石膏ボード12.5mm	
Ⓒ	化粧石膏ボード12.5mm＋アクリル樹脂エマルジョン塗料	

※天井仕上材は参考とする。



(発注図)

建築工事 3階平面図 (改修・撤去) 1/100

【注記】

1. は、天井撤去・改修範囲を示す。
2. は、天井点検口 (450x450) 新設を示す。
3. は、天井点検口 (600x600) 新設を示す。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事

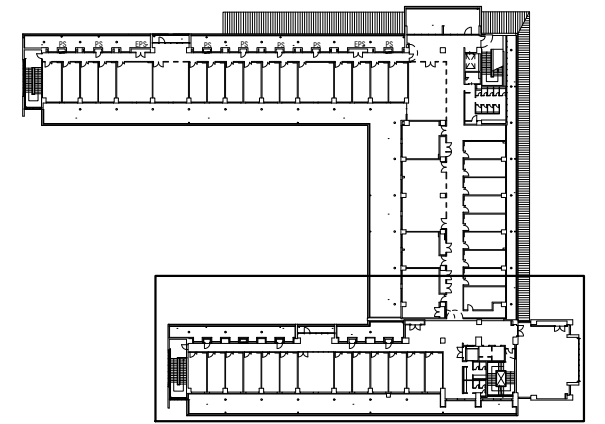
建築工事 3階平面図 (改修・撤去)

SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

株式会社 新日本設備計画九州事務所

福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号  
電話 (092) 431-7823

NO.  
M - 14

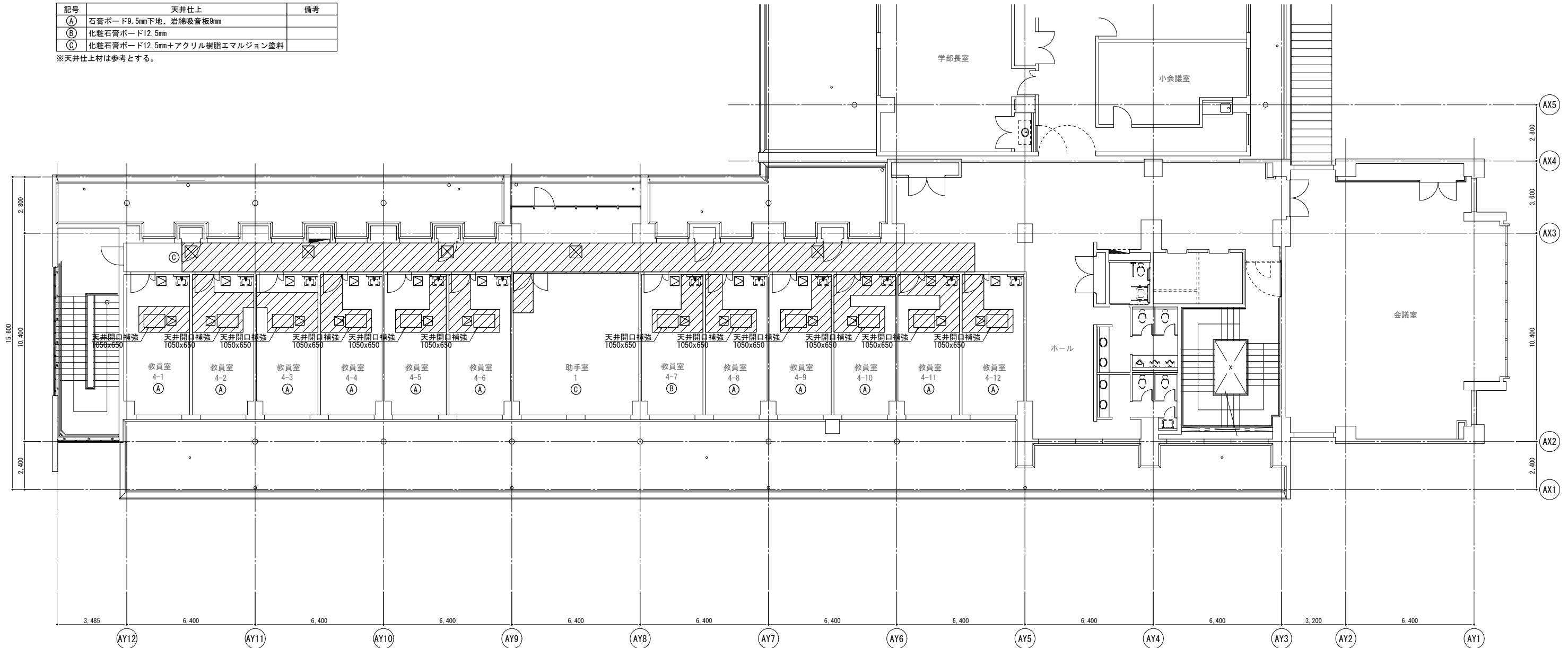


KEY PLAN

天井仕上表

記号	天井仕上	備考
Ⓐ	石膏ボード9.5mm下地、岩綿吸音板9mm	
Ⓑ	化粧石膏ボード12.5mm	
Ⓒ	化粧石膏ボード12.5mm+アクリル樹脂エマルジョン塗料	

※天井仕上材は参考とする。



(発注図)

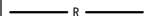
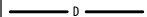


建築工事 4階平面図 (改修・撤去) 1/100

【注記】

- は、天井撤去・改修範囲を示す。
- は、天井点検口 (450x450) 新設を示す。
- は、天井点検口 (600x600) 新設を示す。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事	
建築工事 4階平面図 (改修・撤去)	N0.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	M - 15
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823

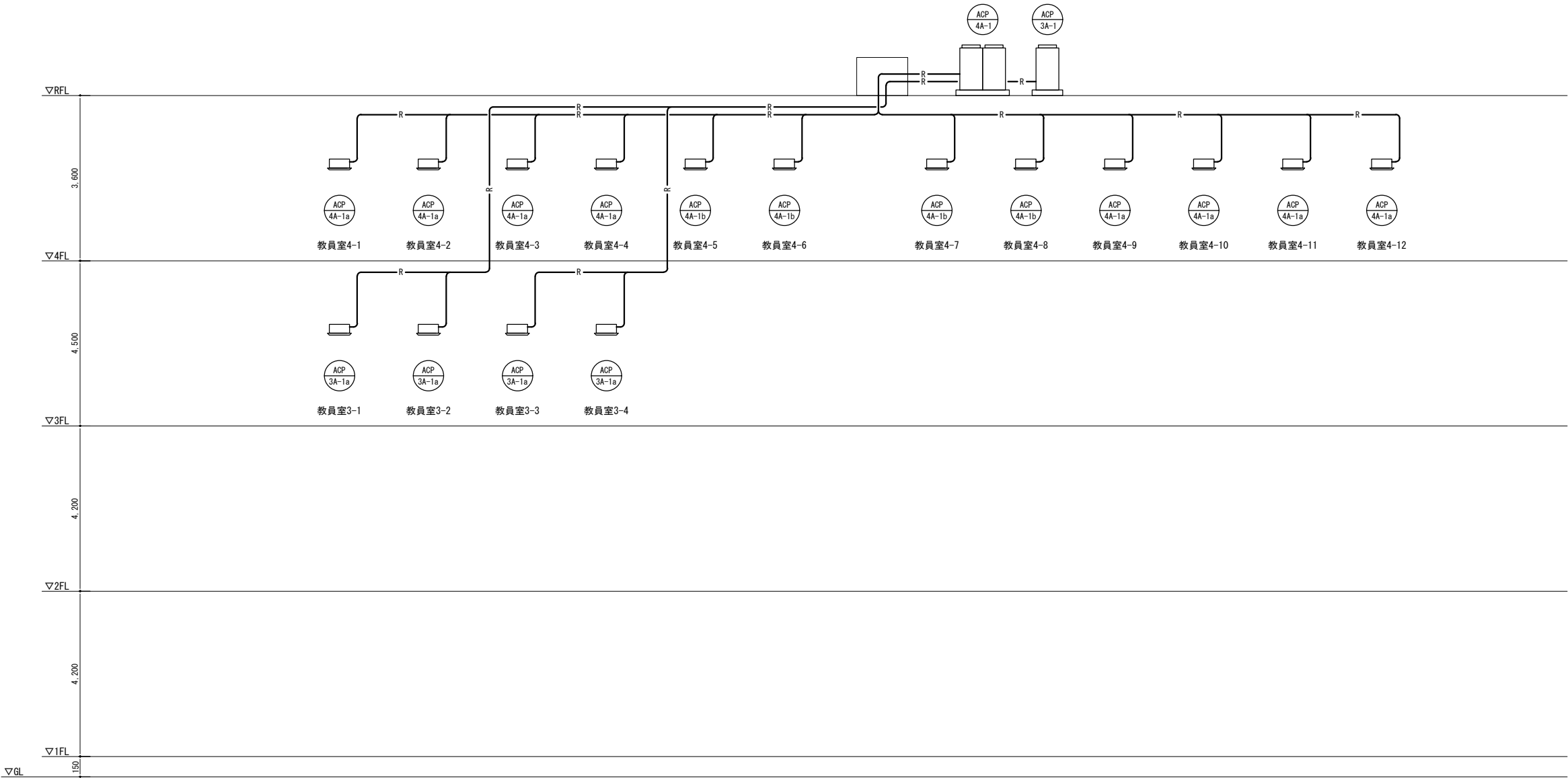
凡例


記号	名称	備考
 R	冷媒管	断熱材被覆銅管
 D	ドレン管（屋内一般）	結露防止層付塩化ビニル管（AC-VP）
	配線（隠べい）	
	配線（露出）	
○ RS	リモコンスイッチ	室内機用個別リモコン

機器表

※電気容量は参考値とする。

記号	名称	仕様	電源 [φ-V]	電気容量 [kW]	台数	設置場所	備考
ACP 3A-1	空冷ヒートポンプ式	マルチタイプ（インバータ制御）			1		
	パッケージ形空調機	室外機 冷房能力：16.0kW、暖房能力：18.0kW	3-200	5.65	(1)	R階 屋上	
		圧縮機：3.9kW、送風機：0.32kW					
	-a	室内機(1)天井カセット形（2方向吹出形）	1-200	0.06	(4)	3階 教員室3-1～3-4	
		冷房能力：4.5kW、暖房能力：5.0kW					
		送風機：0.06kW					
ACP 4A-1	空冷ヒートポンプ式	マルチタイプ（インバータ制御）			1		
	パッケージ形空調機	室外機 冷房能力：56.0kW、暖房能力：63.0kW	3-200	20.1	(1)	R階 屋上	
		圧縮機：13.0kW、送風機：0.32kWx4					
	-a	室内機(1)天井カセット形（2方向吹出形）	1-200	0.06	(8)	4階 教員室4-1～4-4、 4-9～4-12	
		冷房能力：4.5kW、暖房能力：5.0kW					
		送風機：0.06kW					
	-b	室内機(2)天井カセット形（2方向吹出形）	1-200	0.05	(4)	4階 教員室4-5～4-8	
		冷房能力：3.6kW、暖房能力：4.0kW					
		送風機：0.05kW					
【パッケージ形空調機共通事項】							
1. 冷媒についても関連法規に基づき適切に処分を行うこととする。							



【注記】  
1.  は撤去を示す。

（発注図）

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
空調設備 凡例・機器表・配管系統図（撤去）		NO.
SCALE		M - 16
—		
株式会社 新日本設備計画九州事務所		福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823

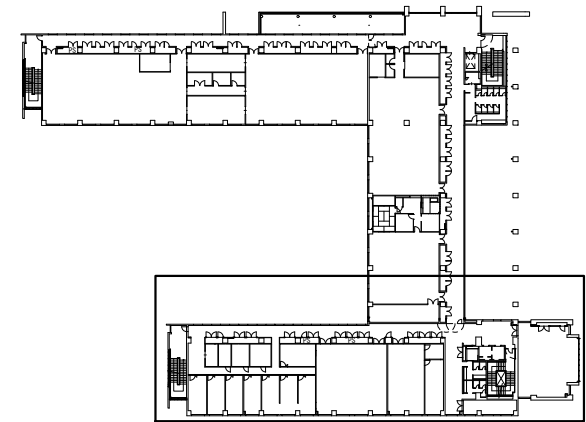
空調設備 配管系統図（撤去）



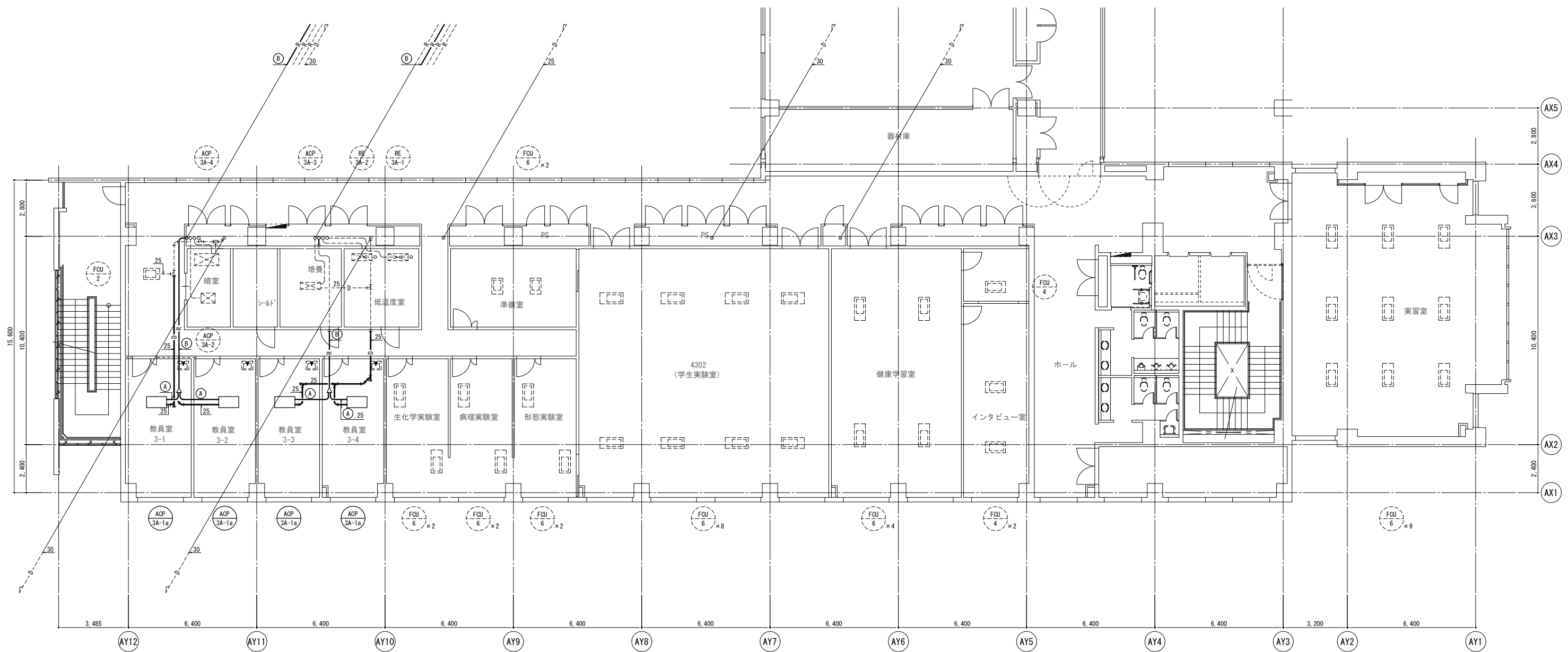
冷媒管サイズ

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	31.75
H	15.88	38.10
I	19.05	38.10

※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 3階平面図 (撤去) 1/100

- 【注記】
1. — は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
  2. - - - は既設配管の切断を示す。
  3. 撤去後の穴埋補修は本工事とする。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事

空調設備 3階平面図 (撤去)

NO.  
M - 17

SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

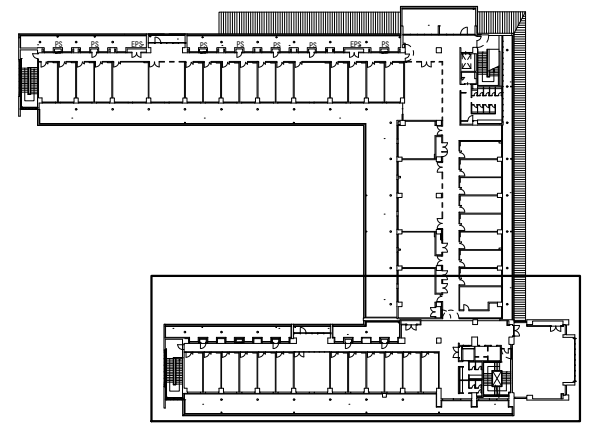
株式会社 新日本設備計画九州事務所 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



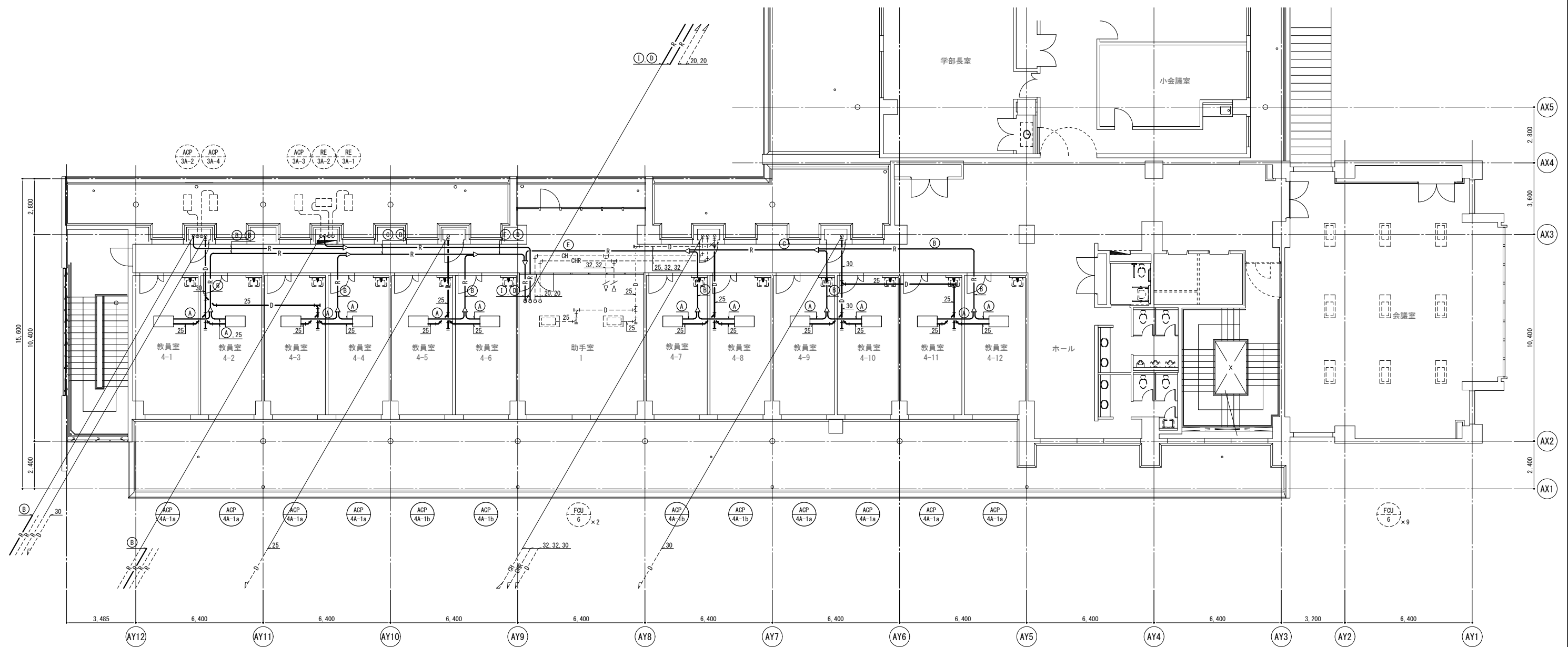
冷媒管サイズ

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	31.75
H	15.88	38.10
I	19.05	38.10

※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 4階平面図 (撤去) 1/100

- 【注記】
1. ——— は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
  2. - - - は既設配管の切断を示す。
  3. 撤去後の穴埋補修は本工事とする。

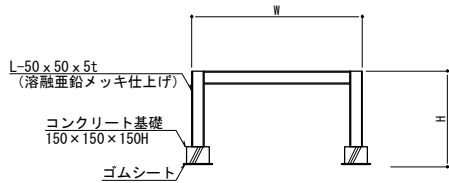
福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事

空調設備 4 階平面図 (撤去)

NO.  
M - 18

SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

株式会社 新日本設備計画九州事務所 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823



架台要領図 (参考)

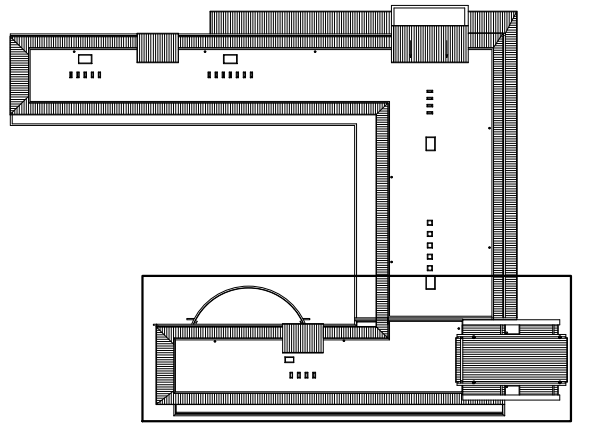
冷媒管サイズ

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
A	6.35	12.70
B	9.52	15.88
C	9.52	19.05
D	9.52	22.22
E	12.70	25.40
F	12.70	28.58
G	15.88	31.75
H	15.88	38.10
I	19.05	38.10

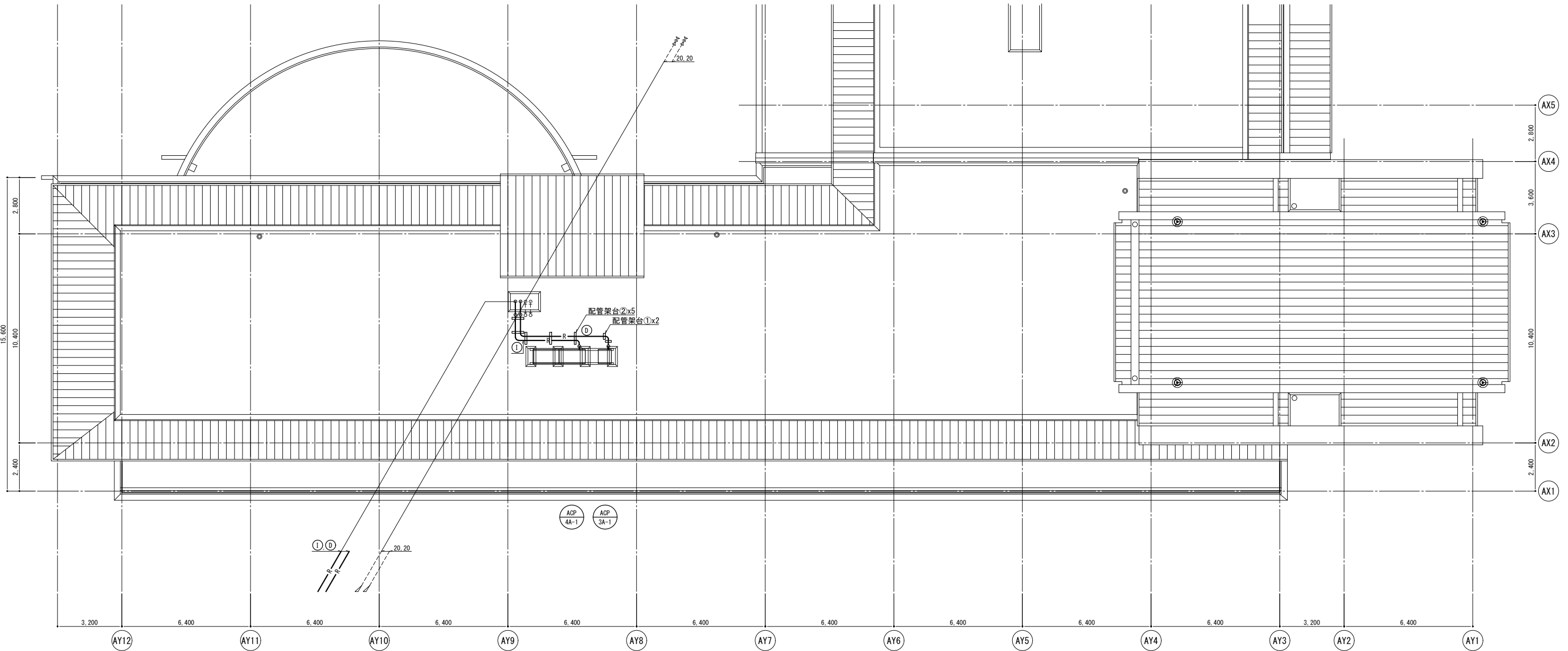
※冷媒配管サイズは参考とする。  
※室内外機渡り配線は冷媒管共巻きとする。

架台寸法表

記号	W	H	数量
①	300	300	2
②	600	300	5



KEY PLAN



(発注図)

空調設備 R階平面図 (撤去) 1/100

【注記】

- は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
- は既設配管の切断を示す。
- 撤去後の穴埋補修は本工事とする。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事

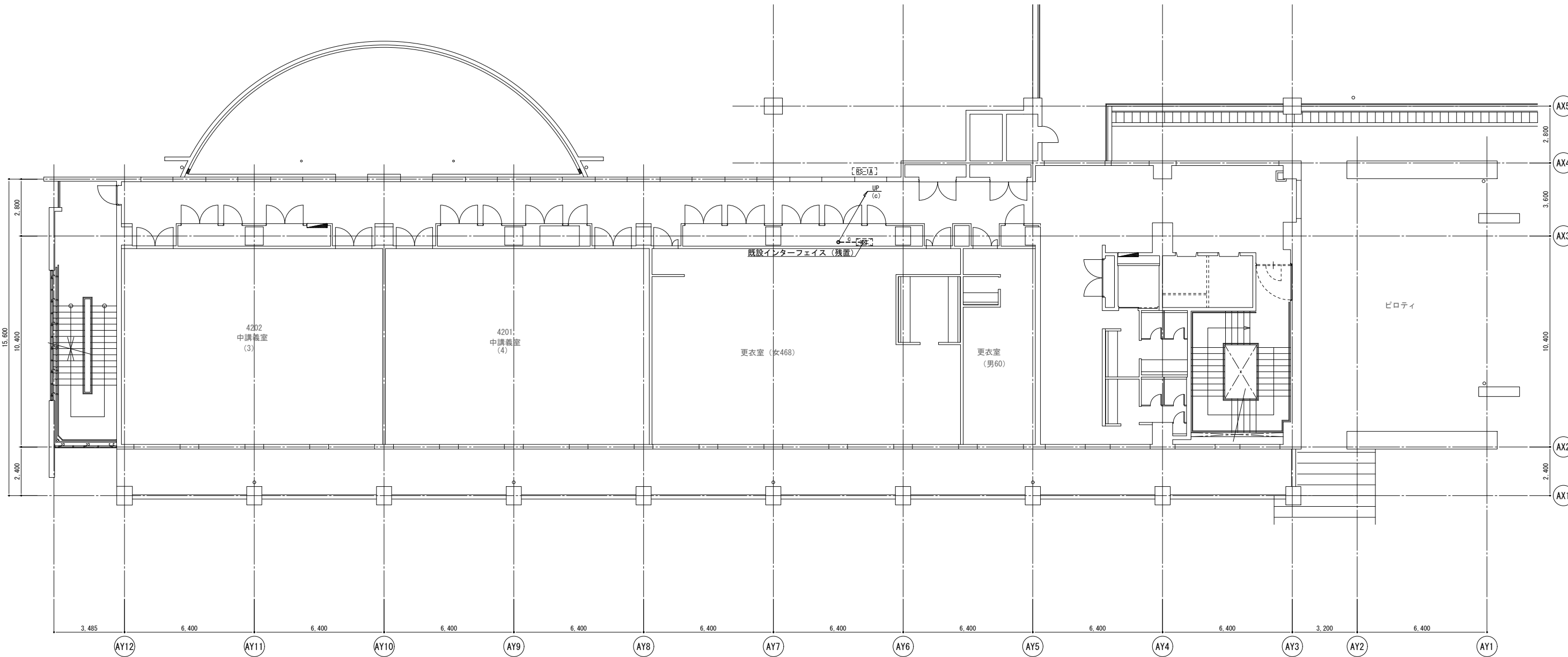
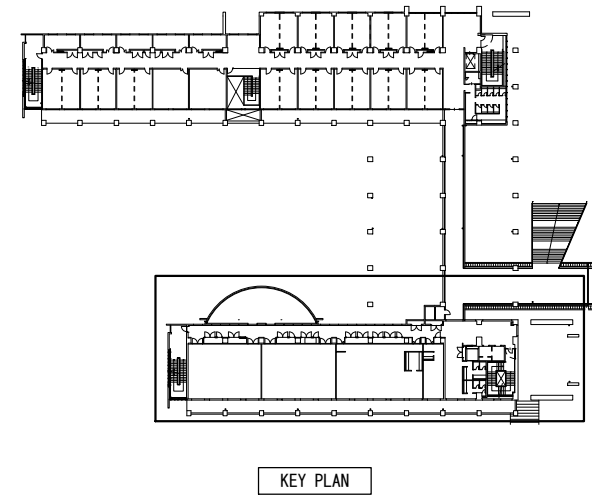
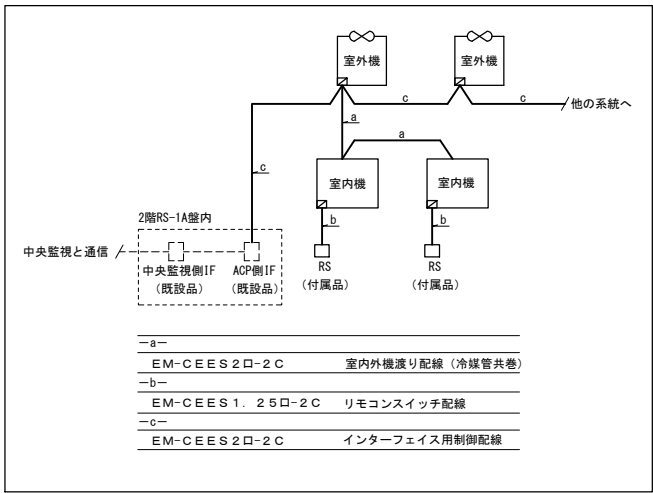
空調設備 R階平面図 (撤去)

NO.  
M - 19

SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

株式会社 新日本設備計画九州事務所 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823

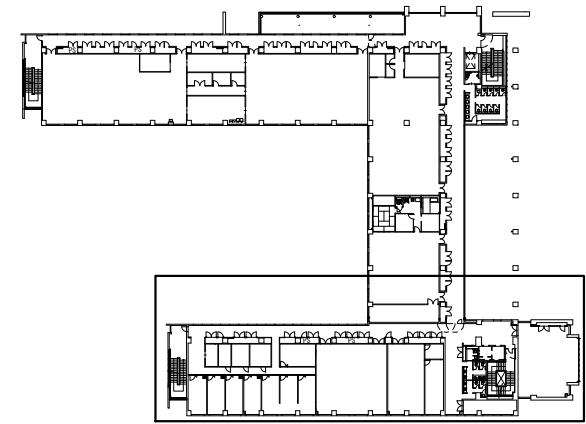
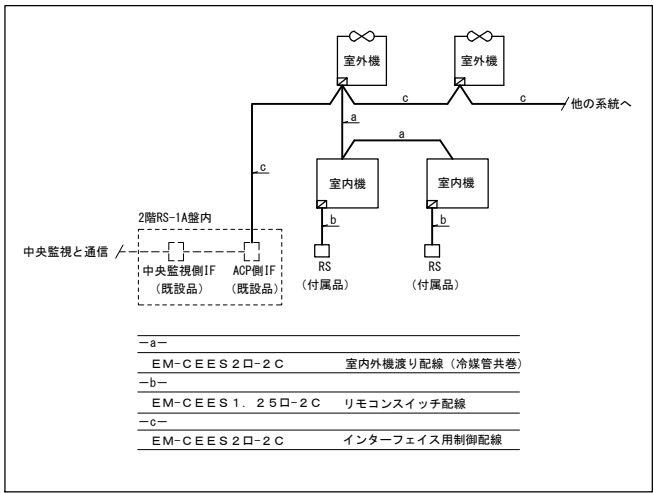




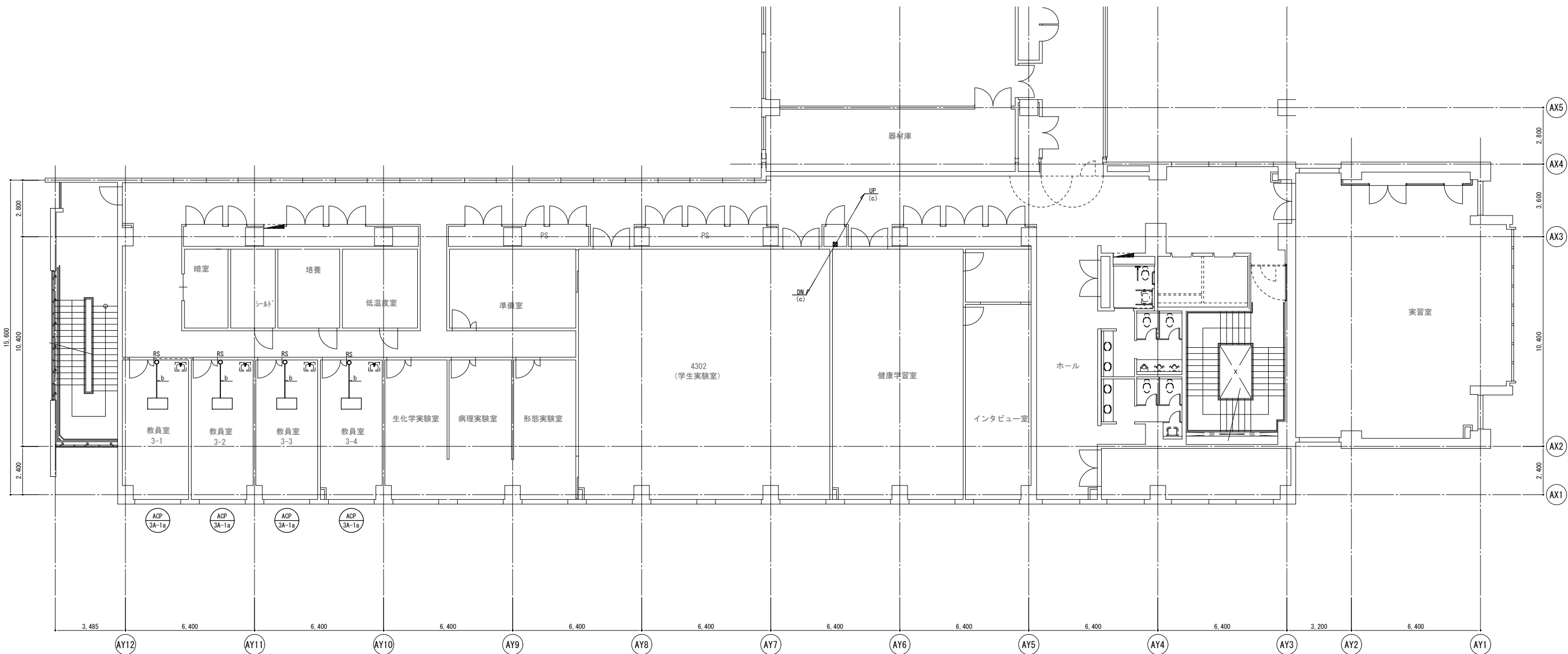
自動制御設備 2階平面図 (撤去) 1/100

- 【注記】
- は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
  - 撤去後の穴埋補修は本工事とする。
  - 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻とし、配線ルートは空調と設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
自動制御設備 2階平面図 (撤去)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 20
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



KEY PLAN

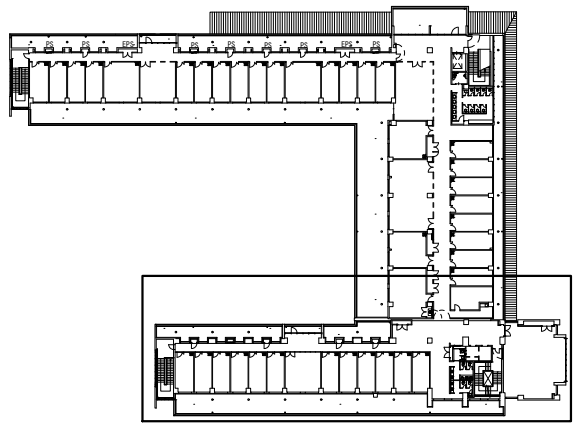
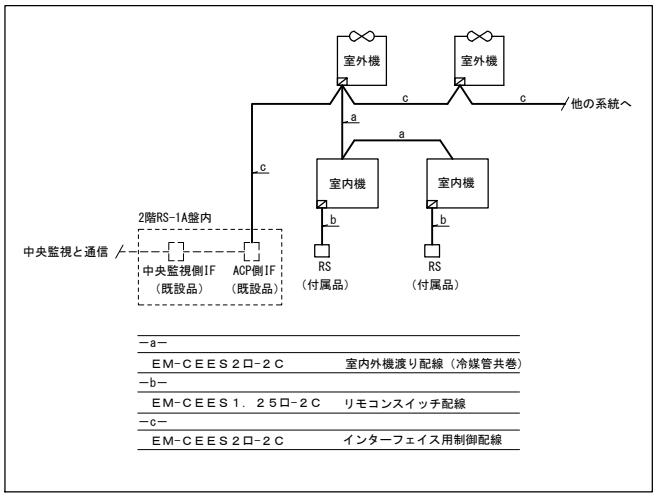


(発注図)

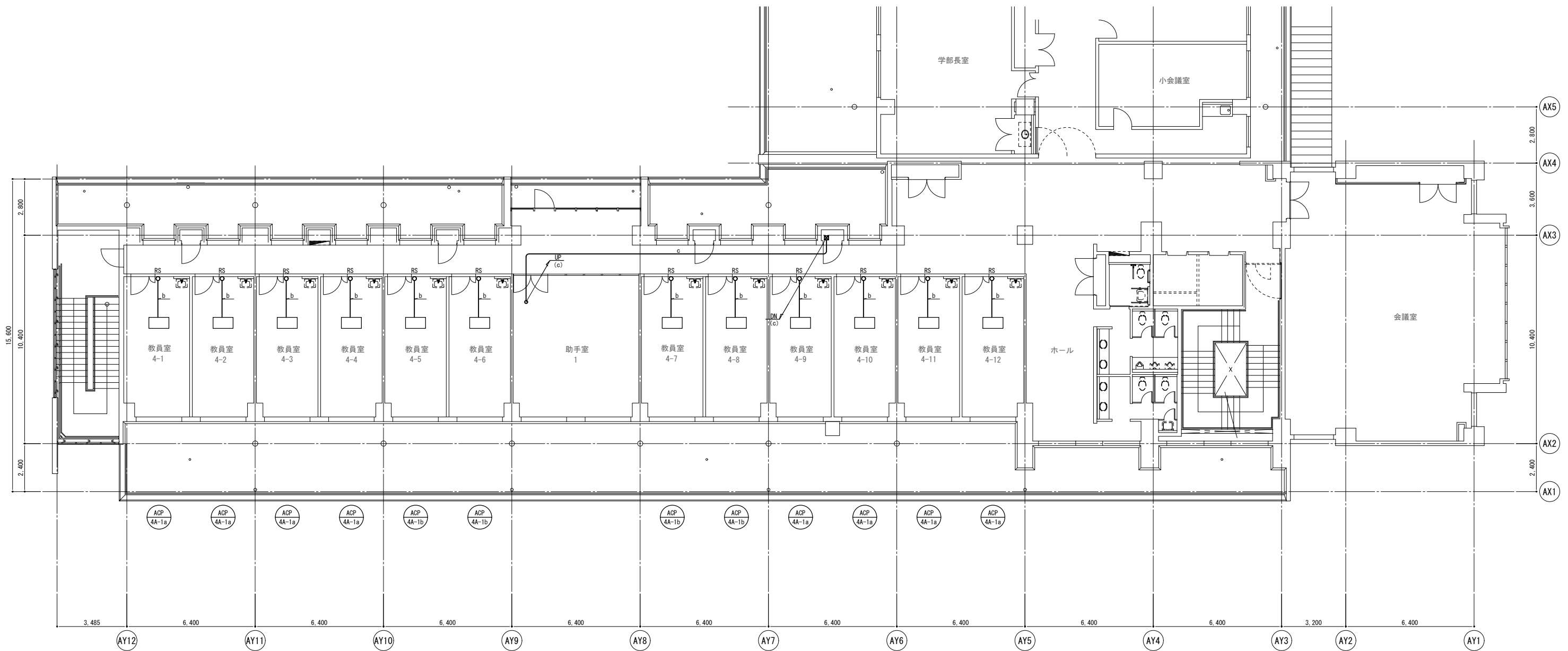
自動制御設備 3階平面図 (撤去) 1/100

- 【注記】
- は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
  - 撤去後の穴埋補修は本工事とする。
  - 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻きとし、配線ルートは空調と設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
自動制御設備 3階平面図 (撤去)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 21
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



KEY PLAN

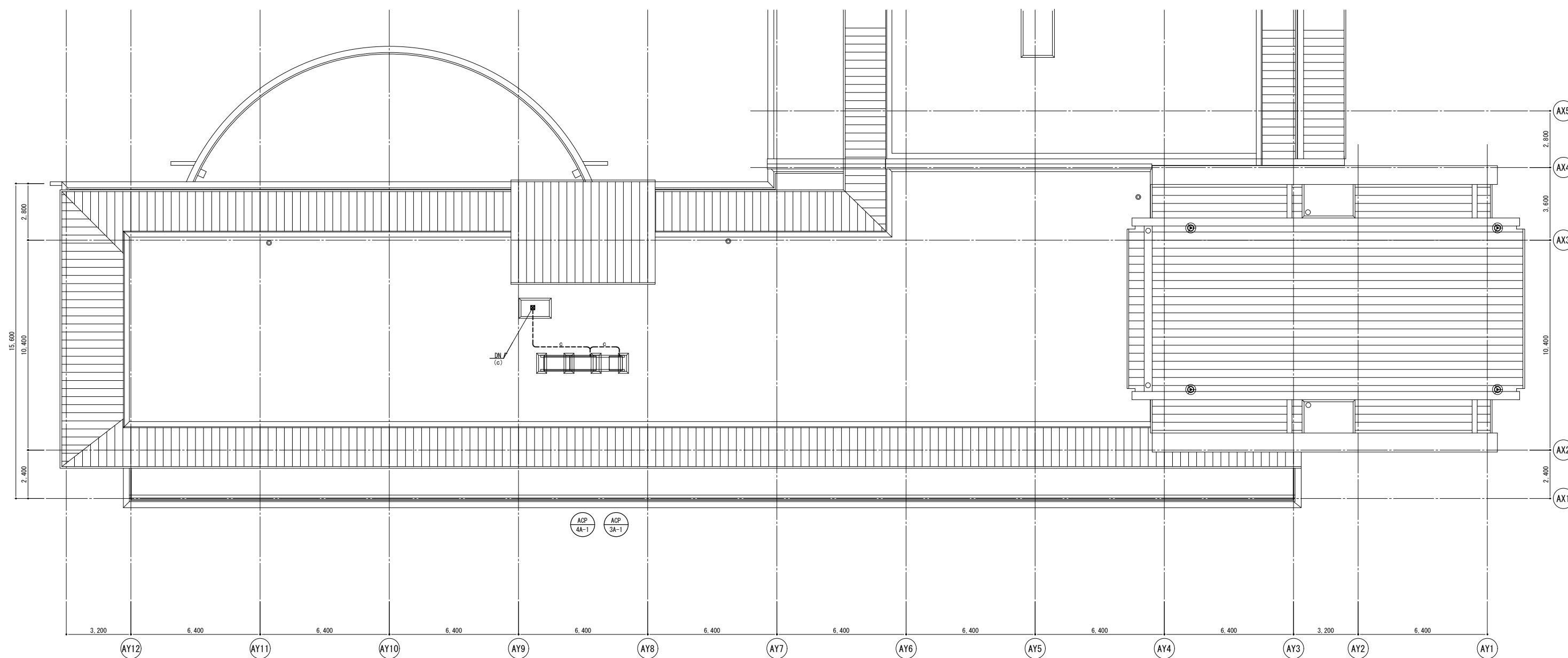
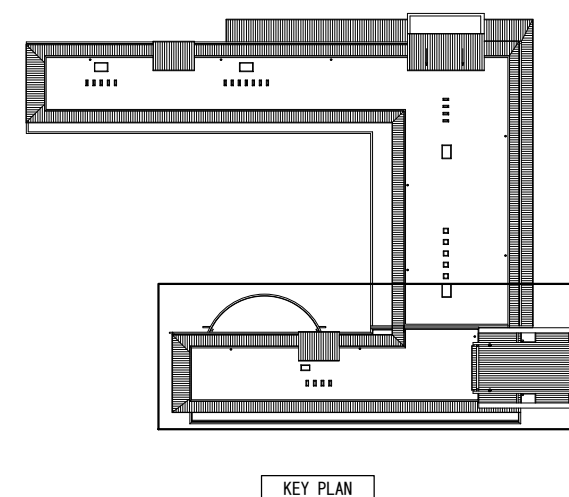
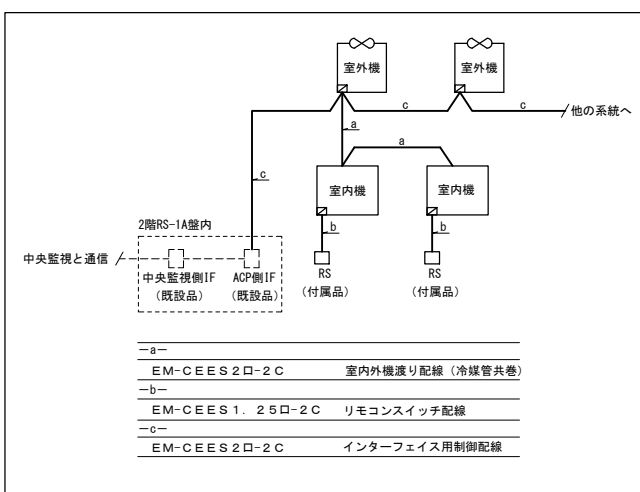


(発注図)

自動制御設備 4階平面図 (撤去) 1/100

- 【注記】
1. ——— は撤去を示し、----- は既設 (残置) を示す。
  2. 撤去後の穴埋補修は本工事とする。
  3. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻とし、配線ルートは空調と設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
自動制御設備 4階平面図 (撤去)		NO.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		M - 22
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



(発注図)

自動制御設備 R階平面図 (撤去) 1/100

【注記】

1. ——— は撤去を示し、----- は既設（残置）を示す。
2. 撤去後の穴埋補修は本工事とする。
3. 室内外機連絡配線は冷媒配管共巻きとし、配線ルートは空調設備平面図を参照のこと。

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事

自動制御設備 R階平面図 (撤去)

NO.
M - 23

SCALE      A1 : S=1/100    A3 : S=1/200

株式会社 新日本設備計画九州事務所 福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号  
電話 (092) 431-7823

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工 事 名 称 福岡県立大学4号館空調改修設備工事

Ⅱ. 工 事 概 要

1. 総合免注の有無 本工事は、以下の工事を含む。（詳細は、図面参照のこと）
- ・ 建築工事
  - ・ 機械設備工事

2. 工 事 場 所 福岡県田川市伊田4395

3. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積（㎡）	防火対象物の種別	備 考
4号館	RC	4F	3,771.93	7項	

4. 工 事 種 目 （○印を付けたものを適用する）

工 事 種 目	建 物 別				
	4号館				備 考
○電 灯 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
○動 力 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
・ 避 雷 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 受 変 電 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 静 止 形 電 源 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 発 電 設 備	一式	一式	一式	一式	
○構内情報通信網設備	改修 一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 交 換 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 情 報 表 示 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 映 像 ・ 音 響 設 備	一式	一式	一式	一式	
○拡 声 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
・ 誘 導 支 援 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 呼 出 し 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 防 犯 設 備	一式	一式	一式	一式	
○自 動 火 災 報 知 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
・ 中 央 監 視 制 御 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 遠 隔 量 水 器 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ デマンド監視・制御設備	一式	一式	一式	一式	
・ 太 陽 光 発 電 設 備	一式	一式	一式	一式	
・	一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 配 電 線 路	一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 通 信 線 路	一式	一式	一式	一式	
・					

Ⅲ. 工 事 仕 様

1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- (1) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (2) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (3) 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (4) 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (5) 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (6) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (7) 「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年版）」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

- (1) 「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- (2) 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- (3) 「建築工事標準詳細図（建築工事編 令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- (4) 「電気設備工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (5) 「機械設備工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (6) 「建築工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (7) 「建築改修工事監理指針（令和4年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- (8) 「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」 独立行政法人 建築研究所監修
- (9) 「建築工事安全施工技術指針・間解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- (10) 「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
- (11) 建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石棉飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課
- (12) 「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」 環境省環境再生・資源循環局
- (13) 「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部構築

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3 特 記 仕 様

- (1) 該当する項目のみ適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 機 材	この工事に使用する機材は、監督職員の承諾を受ける。 なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。
2. 電 気 工 作 物	・ 一般用電気工作物

25. 接 地 極

強電配線・弱電配線・その他配管等について、定められた間隔を考慮すること。

多象数股により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653（附属書含む）」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。

また、電線相互の接近により誘導電が生じるおそれがある場合は、多象数股は行わないこと。

接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設標90×140×1、5 t（黄銅製・刻印）

を設置すること。なお、接地棒 EB（14）φ の長さは1,500mm以上とし、10φ・14φは、W＝40として差し支えない。

接 地 の 種 別		記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同		E <sub>A C D</sub>	10Ω以下	
・ 共 同		E <sub>A B</sub>	10Ω以下	
・ A 種		E <sub>A</sub>	10Ω以下	
・ B 種		E <sub>B</sub>	50/1Ω以下	電気事業者へ確認
・ C 種		E <sub>C</sub>	10Ω以下	
・ D 種		E <sub>D</sub>	100Ω以下	E L B C 共
・ 避 雷 設 備		E <sub>L</sub>	10Ω以下	
・ 高 圧 避 雷 器		E <sub>LH</sub>	10Ω以下	
・ 低 圧 避 雷 器		E <sub>LL</sub>	10Ω以下	
・ 交 換 機 用		E <sub>t</sub>	10Ω以下	
・ 通 信 用		E <sub>AL</sub>	10Ω以下	
・ 通 信 用		E <sub>OL</sub>	100Ω以下	
・ 測 定 用		E <sub>D</sub>		

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

- ・ 構内交換装置 ・ 電話機取付け
- ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事

本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

- ・ 機器取付調整 ・ 配管配線まで本工事
- ・ 配管のみ本工事

- ・ 幹線 LAN（CAT6A）；赤色 ・ 認証ネットワーク；指定なし ・ その他；指定なし

- ・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用

- ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

- ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

- ・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整、配管配線まで本工事

躯体貫通箇所においては検査機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。

プレート色は監督員の指示による。

差中央部に鼠章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。

屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

機器類の撤去後の取付ボルト孔、変色等は監督員指示により補修を行う。

屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛メッキ仕上げ又はステンレス鋼製とする。

39. 建設副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。  
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。  
また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。  
工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。  
有価物（スクラップ）については受注者責任の元、適切に処分を行うこと。処分を行った場合は、マニフェストと別に、有価物としての処分量が確認できる伝票等を添付すること。

指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
が れ き 類 (コンクリート塊) (アスファルト コンクリート塊)	廃 プ ラ ス チ ッ ク ガ ラ ス ・ 陶 磁 器 く ず 廃 石 こ う ボ ー ド
木 く ず 建 設 発 生 土 汚 泥	金 属 く ず 織 維 く ず

特別管理産業廃棄物

・ 廃 石 綿 等  
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石棉飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」  
厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課  
「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」 環境省環境再生・資源循環局に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

・ 廃 P C B 等  
「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書を作成し届出を行うこと。また廃 PCBについては、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

処 理 内 容	備 考
現場内における分別 現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

40. 参考取付高さ

41. そ の 他

建築工事の手引き（電気設備工事編）による。

・ 廃蛍光灯および廃水銀灯は、水銀使用製品産業廃棄物として処理すること。

○ 停電を伴う工事は、施設管理者と事前協議を十分した上で実施すること。

○ 施工の際は、分電盤対象回路を遮断すること。

・ 建築足場等により、自動点滅器が影に入る場合は、必要に応じて仮設措置を行うこと。

・ 本工事は、週休2日促進工事対象である。（詳細は現場説明書による。）

○ 入札時積算数量書活用方式対象工事である。

○ 余裕期間制度対象工事である。

・ 情報共有システム対象工事である。

・ 快適トイレ対象工事である。

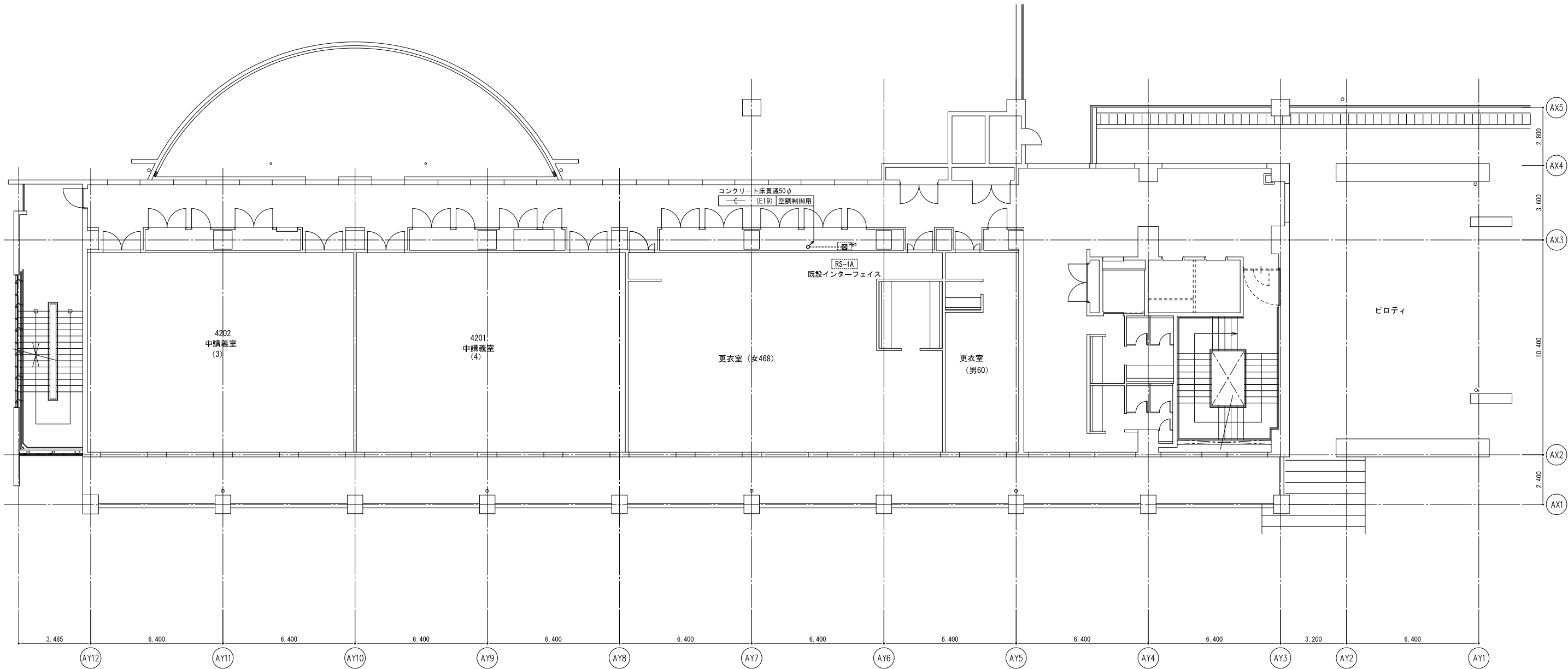
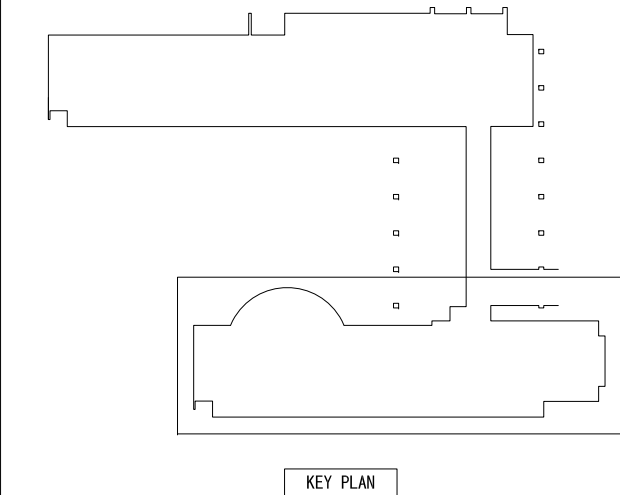
(発注図)

		令和 6 年 6 月 日	
工事名称	福岡県立大学4号館空調改修設備工事	特 記 仕 様 書	
工事場所	福岡県田川市伊田4395	同 番	E-01
設計者 氏 名	1級建築士登録第 号 建築設備士第 号		
事業所名 及び所在地	福岡県建築都市部営繕設備課 福岡市博多区東公園7番7号		



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	空調開閉器盤	既設
	空調機(室外機)	機械工事
	空調機(室内機)	機械工事
	蛍光灯 FHF32W-2 露出型	取外し再取付
	蛍光灯 FHF32W-1 埋込型	取外し再取付
	蛍光灯 FHF32W-3 埋込型	取外し再取付
	無線アクセスポイント	取外し再取付
	天井スピーカ	取外し再取付
	熱感知器	取外し再取付
	アウトレットボックス	既設
	プルボックス	
	いんべい配管配線	
	露出配管配線	
	コンクリート壁貫通50φ	補修共
	配管支持ブロック	H100 ゴムベース付
	立上り・引下げ	

注 記	
1) 図中、特記なき配管配線は下記による。	-----6----- (G 22)
2) 図中、特記なきプルボックスは下記による。	☒ PB1 SS 150×150×100
	☒ PB2W SS 200×200×150 WP-SUS
3) 図中、 は建築工事の天井撤去・改修範囲を示す。	
4) 既設空調室内機の撤去時に既設電源ケーブルを一旦切離し、空調室内機新設後に再接続を行う。(※5 傍記)	
5) 既設空調開閉器盤の二次側配管配線は全て撤去後新設する。	
6) 既設インターフェイスより空調室外機までの制御ケーブル(機械工事)用配管を新設する。	

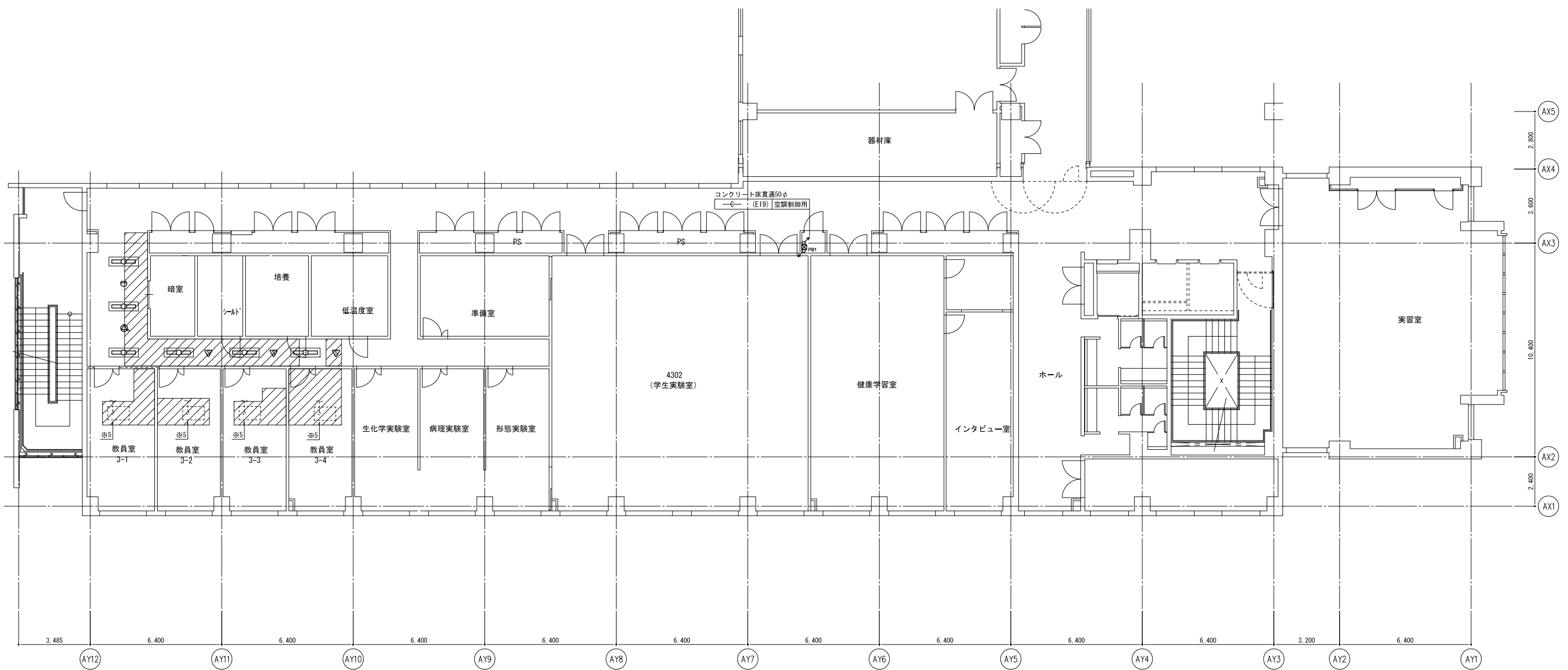
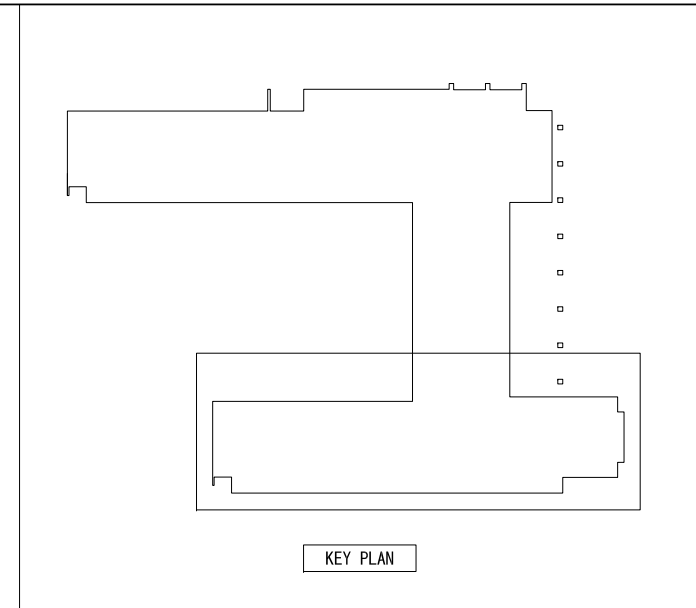


(発注図)

電気設備 2階平面図 (改修・撤去) 1/100

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
電気設備 2階平面図 (改修・撤去)		NO. E - 02
SCALE	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	

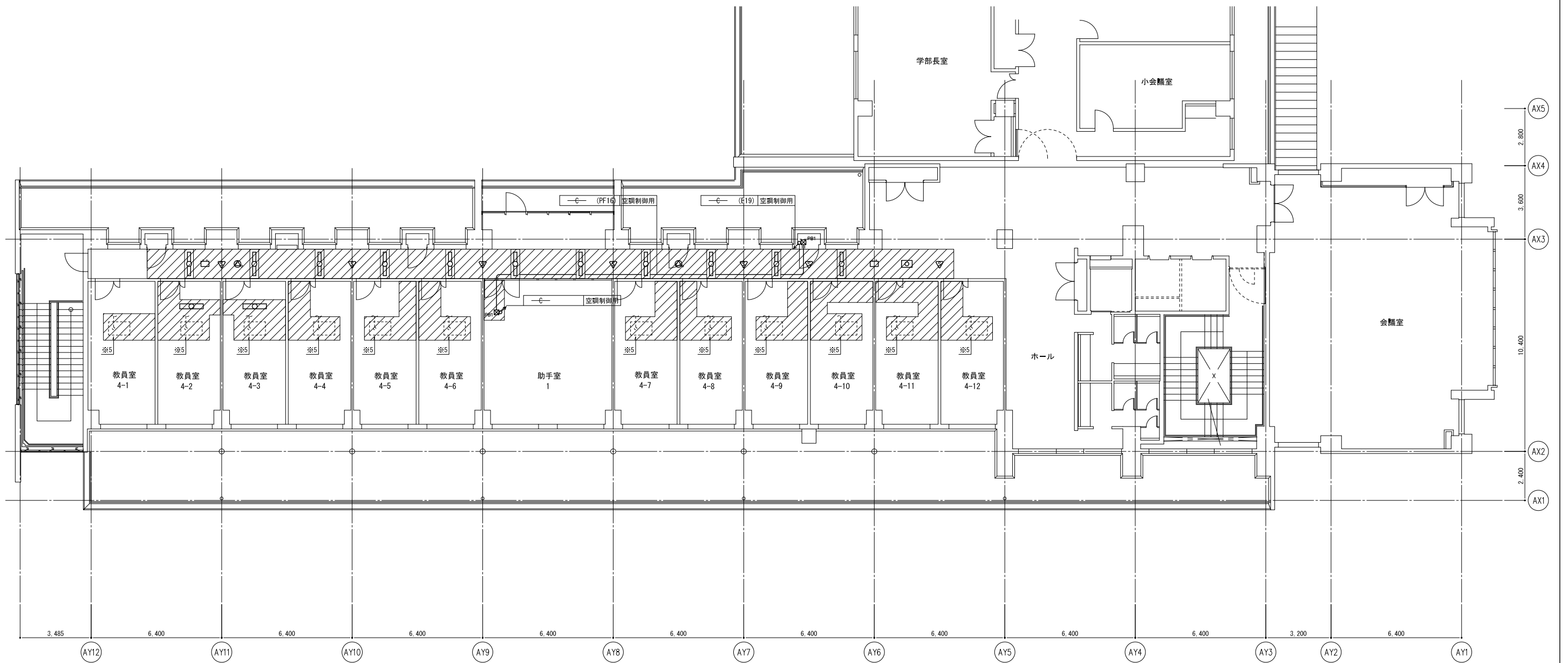
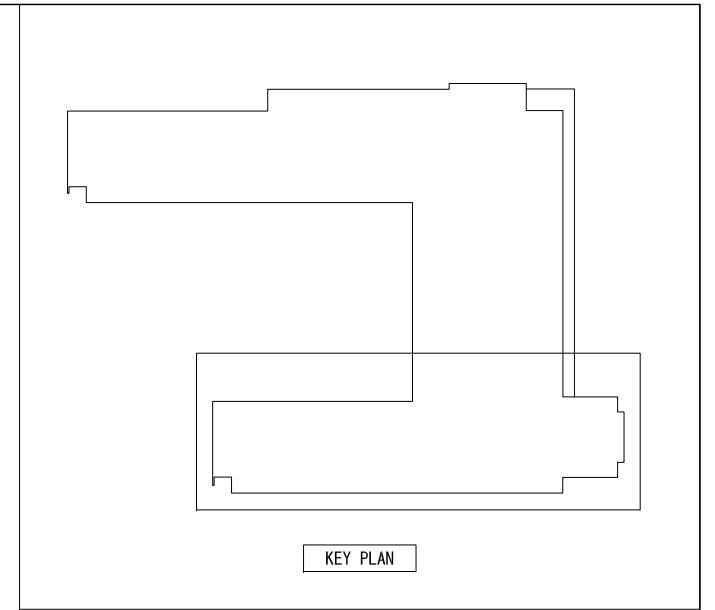




(発注図)

電気設備 3階平面図 (改修・撤去) 1/100

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
電気設備 3階平面図 (改修・撤去)		NO. E-03
SCALE	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	



電気設備 4階平面図 (改修・撤去) 1/100

福岡県立大学 4号館空調改修設備工事		
電気設備 4階平面図 (改修・撤去)		N0.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		E - 04
株式会社 新日本設備計画九州事務所		福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823

機器リスト <改修後>

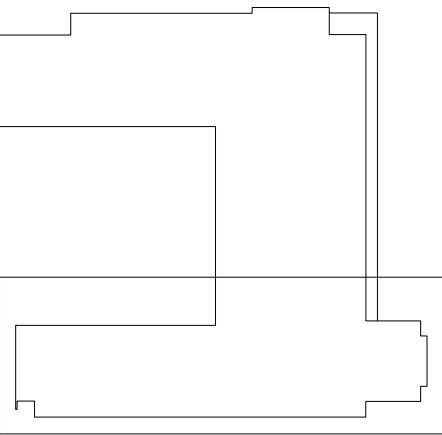
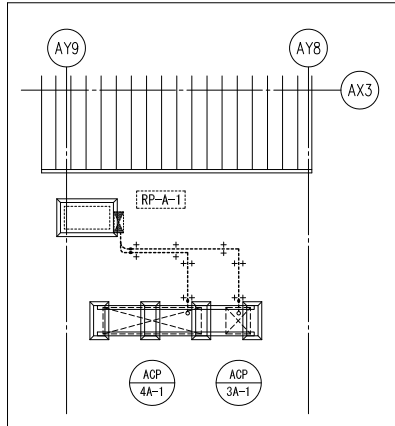
配 号	名 称	仕 様	電 源 ( $\phi$ -V)	消費電力 (kW)	分岐配管配線	接続材
ACP-3A-1	空調和室外機	マルチタイプ (インバータ)	3-200	4.47	EM-CET8'・30, E5, 5' (G28)	(F <sub>2</sub> 30)
ACP-4A-1	空調和室外機	マルチタイプ (インバータ)	3-200	10.60	EM-CET22', E8' (G36)	(F <sub>2</sub> 38)

機器リスト <改修前>

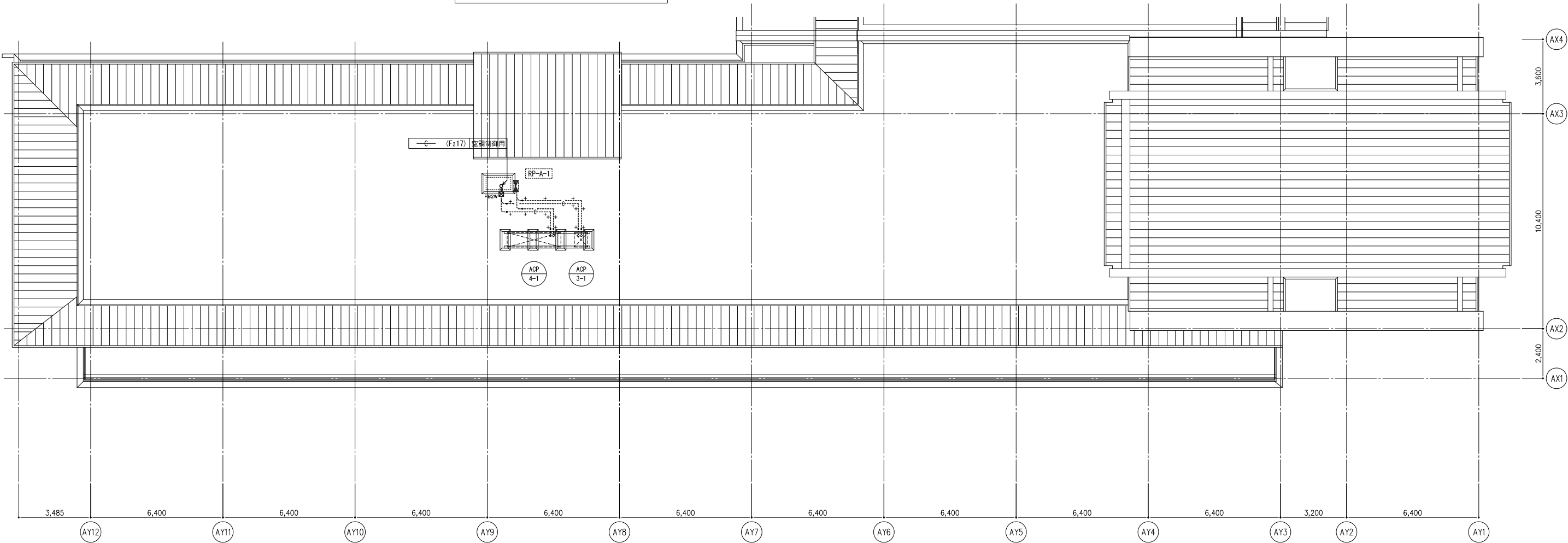
配 号	名 称	電 源 ( $\phi$ -V)	消費電力 (kW)	分岐配管配線	接続材
ACP-3A-1	空調和室外機	3-200	5.56	EM-CET14', E5, 5' (G28)	(F <sub>2</sub> 30)
ACP-4A-1	空調和室外機	3-200	20.10	EM-CET38', E8' (G54)	(F <sub>2</sub> 50)



<改修前>



KEY PLAN



(発注図)

電気設備 R階平面図 (改修・撤去) 1/100

福岡県立大学 4 号館空調改修設備工事		
電気設備 R 階平面図 (改修・撤去)		N0.
SCALE A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		E - 05
株式会社 新日本設備計画九州事務所	福岡市博多区博多駅東2丁目9番1号 電話 (092) 431-7823	